

消防年報

令和7年刊行

川越地区消防局

時代のあふる川越地区
 火災と水害を克服し
 町の発展を遂げよう
 町民の重み
 期待と想い
 纏と本音の
 いきいきと
 つけつけ者よ
 悔のない青春を掲げて
 風刃をサイレンと赤色町に
 会と桜の旗はゆく
 消防ばら
 筒先を大空へ
 大空へ虹と！
 日常に頼る
 智力と科学
 結ぶ組織は自治の文化
 川越地区消防組合消防歌
 関根 栄一 作詞
 寺島 尚彦 作曲
 虹のマーチ

虹のマーチ

(川越地区消防組合消防歌)

作詞 関根 栄一
 作曲 寺島 尚彦

じだいのうねりむさしのだいちひろが
 れきしのおもみきたいをにないまとい

るみどりうたいながらがれるかもよ
 とまやりのこころいきをうけつぐものよ

ささえあうひとびとのきずながで
 くいのないせいしゅんをかすか

ささえあうひとびとのきずながでかせ
 いとすいがい
 いとすいがい
 いるさいがレンみなしくいとうにまゆ

ちのとさくらをまたりはめく

く い ざ い ざ い ざ い

ざ 消 防 ば く - ら 消 防 ば く -

ら い ざ い ざ い ざ い

ざ つ つ さ き - を お お ぞ ら -

へ お お ぞ ら - へ に じ を に じ を に じ を

ひ ご ろ に き た え た

ひ ご ろ に き た え た ち り ゅ く と か が く む

す ぶ そ し き は ま ち の は な

は　じ　め　に

この年報は、川越地区消防局の現勢と消防諸般の状況を収録し、今後の消防行政の参考資料にするとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編さんしました。

この消防年報によって本消防局の現状を認識し、深くご理解いただければ幸いです。

なお、各表について、特記してあるものを除き、年中における消防業務を収録したものであります。

令和7年6月

川越地区消防局

目 次

ひと目でわかる消防組合	1
-------------	---

沿 革

川越地区消防組合の沿革	2～12
-------------	------

管内情勢

川越市	13
川島町	14
消防機関配置図	15～16

総 務

人口等の推移	17
消防吏員、消防車等の人口、世帯、面積の割合	17
川越地区消防組合機構図	18
消防局・消防署事務分掌	19～21
職員の配置状況	22
消防自動車の配置状況	22
基準消防力と現有消防力の比較	23
川越市・川島町予算(一般会計)消防組合予算(当初)	24
消防組合予算(当初)	24～25
消防組合予算性質別内訳(当初)	25
消防庁舎の現況	26
令和6年度主要な施設等の整備	26
職員定数・実員の推移	27
職員の年齢	28
職員の勤続年数	28
職員の採用、退職等の状況	29
職員の教養実施状況	29
消防音楽隊	30
消防相互応援協定等の状況	31～32

予 防

法令に基づく各種届出状況	33
防火・防災管理者選任(解任)届出状況	33
消防用設備等設置届出状況	34
建築物同意状況	35
用途別防火対象物数	36
防火対象物立入検査実施状況	37
防火管理資格取得者数及び再講習状況	38
広報活動の状況	38
危険物関係処理状況	39
数量別危険物製造所等施設数	40
類別危険物施設状況	41
危険物事業所・施設数の推移	42
火薬類施設状況	42
火薬類申請届出等状況	42

警 防

所属別消防車両一覧表	43
消防水利の状況	44
警防関係各種届出状況	45
事業所消防訓練派遣状況	45
中高層建築物の状況	46
火災出場の状況	47
その他出場の状況	47
現有消防機器	48

指 令

無線局一覧	49
消防通信系統図	50
通信施設の状況	51
119番受信回数	52
緊急通報システム受信状況	53
病院照会に関する記録	53
気象状況表	54

火 災

令和6年中の火災の概要	55
火災の概況	56
火災件数の推移(10年間)	57
火災損害状況の推移(10年間)	58
火災による死傷者の推移(10年間)	59
地区別の出火原因	60
出火原因別火災件数の推移(10年間)	61
出火原因別火災件数	62
原因別火災発生状況	62
月別火災概況	63
月別火災件数	63
建物用途別火災件数	64
時間別火災発生件数	64
曜日別火災発生件数	64

救急・救助

令和6年中の救急・救助の概要	65
救急車の配置及び救急病院配置図	66
救急活動	
救急活動の推移(10年間)	67
月別救急活動の状況	68
事故種別傷病程度別搬送人員	69
事故種別年齢区分別搬送人員	69
署所別救急活動の状況	70
医療機関別搬送人員	71
時間別救急出場件数	71
救命講習実施状況	72
救急講習指導状況	72
救助活動	
事故種別出場件数、活動件数及び救助人員	73
事故種別発生場所別救助人員	73

消防団

消防団分団区域図	74
川越市消防団分団の名称及び受持区域	75
川島町消防団分団の名称及び受持区域	75
消防団員の実員数	76
分団別人口世帯の状況	77
消防団員の勤続年数	78
消防団員の年齢	79
消防団員の報酬等	80
分団別火災出場の状況	81
消防団施設の概要	82
消防自動車性能	83
川越市消防団専用無線設備の状況	84
川島町消防団専用無線設備の状況	85

その他

自警消防隊の状況	86
----------	----

ひと目でわかる消防組合

川越地区消防組合

令和7年4月1日現在(災害の状況は令和6年12月31日現在)

組合の概況	構成市町・面積	人口	世帯数	予算
				
	川越市 109.13km ² 川島町 41.63km ² 計 150.76km ² ㊦P13・14	川越市 352,673人 川島町 18,613人 計 371,286人 ㊦P17	川越市 170,294世帯 川島町 8,331世帯 計 178,625世帯 ㊦P17	10,787,168,000円 ㊦P24

組織・施設	消防庁舎	消防職員	消防団	消防団員
				
	消防局 1(5課1室) 消防署 4署 消防分署 4分署 ㊦P15・16	定数 435人 ・消防吏員433人 ・消防職員 2人 実員 431人 ・消防吏員430人 ・消防職員 1人 ㊦P27	川越市消防団 団本部 1 分団 12 川島町消防団 団本部 1 分団 6 ㊦P75	川越市消防団 258人 川島町消防団 116人 計 374人 ㊦P76

(非常用車両含む) 車両・水利	ポンプ車等	その他の車両	救急車	消防水利
				
	ポンプ車 15台 (非常用2台含む) 化学車 3台 はしご車 4台 救助工作車 3台 指揮車 1台 ㊦P22・43	支援車 1台 調査車 1台 水槽車 1台 警防車 5台 起震車 1台 指令車 3台 広報車 8台 その他 14台 ㊦P22・43	高規格救急車 13台 (非常用3台含む) ㊦P22・43	消火栓 6,149基 防火水そう 1,913基 プール・池等 85面 ㊦P44

災害の状況	火災件数	出火原因	救急件数	救助出場
				
	建物火災 54件 車両火災 15件 その他火災 32件 計 101件 ㊦P56	1位 放火 15件 2位 たばこ 10件 3位 たき火 10件 ㊦P60～62	急病 15,482件 一般負傷 3,139件 交通事故 1,329件 その他の種別 2,460件 計 22,410件 ㊦P67～70	交通事故 37件 その他の事故 172件 水難事故 4件 火災 44件 計 257件 ㊦P73

通信・予防・広報	119番受信状況	防火対象物数	危険物施設数	消防音楽隊
				
	33,526件 ㊦P52・53	川越市 11,120棟 川島町 903棟 合計 12,023棟 ㊦P36	762施設 ㊦P40・41	隊員数 37名 出演回数 4回 ㊦P30

※各項目の詳細は、最下段にある㊦の頁に掲載されています。

沿

革

川越地区消防組合の沿革

1. 消防組合の設立

昭和48年

- 4 . 1 川越市と川島町は、消防事務について共同処理することに合意し、規約（議決）により名称を川越地区消防組合と定め、消防の一部事務組合を設立した。

2. 業務開始

昭和48年

- 4 . 1 常備消防にあつては、川越地区消防組合消防本部2課（総務係、経理係）、消防課（警防係、予防係、保安係）、1署（川越消防署）、3分署（新宿分署、霞ヶ関分署、高階分署）体制とし、職員の定数165人実員143人をもって業務を開始した。また、非常備消防にあつては、川越市消防団1団本部、12分団体制とし、団員の定数実員とも303人、川島町消防団3分団、6部体制とし、団員の定数実員とも150人をもって業務を開始した。

3. 業務開始後

- 7 . 11 火災予防を徹底するため広報車を霞ヶ関分署、高階分署に配置した。
- 9 . 5 危険物の災害防止と、増加する事務処理の迅速化に対処するため、川越地区危険物安全協会より小型乗用自動車1台の寄贈があり、消防本部に配置した。
- 10 . 15 川島町区域内の救急業務の迅速化を図るため、川島町役場庁舎の一部の提供を受け、職員8人、救急自動車1台を配置し、川島分遣所を設置した。
- 10 . 22 緊急時の出動体制の確実迅速化を図るため、各分署に対する一斉指令装置を消防署に設置した。
- 10 . 23 埼玉県共済農業協同組合連合会より、救急車1台の寄贈があり、高階分署に配置した。

昭和49年

- 1 . 7 川島町大字平沼858番地1に川島分署庁舎鉄筋コンクリート造平屋建延364.77㎡が完成し、新庁舎に職員14人、水そう付消防ポンプ自動車1台、救急車1台を配置して業務を開始し、管内北部の消防力を充実強化した。
- 3 . 19 中高層建築物に対処するため、32m級はしご付消防ポンプ自動車を川越消防署に配置した。
- 4 . 1 機構改革により、川島分遣所を川越消防署川島分署とし、消防本部2課（総務課、消防課）、1署（川越）、4分署（新宿、霞ヶ関、高階、川島）体制となる。
- 11 . 21 川越市神明町48番地4に消防本部、消防署の庁舎鉄筋コンクリート造3階建、延1516.70㎡が完成し、11月23日に移転、業務を開始した。

昭和52年

- 4 . 1 機構改革により、川越消防署に通信指令第1係、通信指令第2係を配置した。
- 6 . 29 災害その他現場指揮本部用車両を消防本部に配置した。

昭和54年

- 4 . 5 機構改革により、川越消防署大東分署を新設し、消防本部2課（総務課、消防課）、1署（川越）、5分署（新宿、霞ヶ関、高階、川島、大東）体制となる。
- 川越市大字豊田新田20番地1に大東分署庁舎鉄筋コンクリート造平屋建398.80㎡が完成し、職員21人、水そう付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内西部の消防力を充実強化した。

- 7 . 24 災害その他現場への資機材輸送の迅速化を図るため、警防車を川越消防署に配置した。

昭和55年

- 5 . 1 機構改革により、川越消防署の通信指令第1係、通信指令第2係を専従体制とした。

昭和56年

- 4 . 1 機構改革により、総務課に教養係、消防課に施設係及び査察指導係を配置し、総務課3係(庶務係、経理係、教養係)、消防課5係(警防係、施設係、予防係、査察指導係、保安係)となる。
- 9 . 30 葵ライオンズクラブより、広報車1台の寄贈があり、消防本部に配置した。

昭和57年

- 1 . 29 多様化する災害に対処するため、救助工作車を川越消防署に配置した。
- 2 . 1 通信指令室に消防緊急指令装置を設置した。
- 10 . 20 日本損害保険協会より、水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈があり、川越消防署に配置した。
- 10 . 22 地震対策の啓蒙に役立てるため、地震体験車(川越なまず号)を川島分署に配置した。
- 12 . 21 管内西部の工業地化が進み、化学火災に対処するため、化学車を大東分署に配置した。

昭和58年

- 1 . 14 通信指令室の総合気象観測装置を更新した。
- 2 . 8 通信指令室に救急専用無線局を設置した。
- 3 . 25 消防署に消防救助技術の向上を図るため、訓練塔(B塔)を設置した。
- 4 . 1 従来の川越消防署通信指令第1係、通信指令第2係を指令第1係、指令第2係とした。
- 12 . 6 エアーマスク用ボンベの空気充填の迅速化を図るため、川越消防署に空気充填庫(7.74㎡)を増築整備した。

昭和59年

- 2 . 28 高層建築物の増加に対処するため、46m級はしご付消防自動車を川越消防署に配置した。
- 3 . 15 消防救助技術訓練施設整備のため、川越消防署に訓練塔(A塔)を増設した。
- 3 . 25 新宿分署に車庫77.49㎡を増築し、32m級はしご付消防ポンプ自動車の配置換えをした。

昭和61年

- 4 . 1 機構改革により、川越消防署東分署を新設し、消防本部2課(総務課、消防課)、1署(川越)、6分署(新宿、霞ヶ関、高階、川島、大東、東)体制となる。
- 7 . 1 川越市大字久下戸3528番地1に東分署庁舎鉄筋コンクリート造2階建451.05㎡が完成し、職員21人、水そう付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内東部の消防力を充実強化した。

昭和62年

- 8 . 21 日本消防協会より、広報車1台の寄贈があり、川越消防署に配置した。
- 8 . 28 川越消防署にマイクロバス(29人乗り)を配置した。

平成 元年

- 4 . 1 機構改革により、調査指導第1係、調査指導第2係を川越消防署に配置し、火災調査業務を専従体制とした。

平成 2年

- 3 . 29 警防車を川越消防署に配置した。

平成 3年

- 4 . 1 機構改革により、従来の消防本部消防課、川越消防署調査指導係及び指令係を廃止し、消防本部に予防課(予防係、査察指導係、保安係)、警防課(警防係、施設係、調査第1係、調査第2係)、指令課(指令第1係、指令第2係)を配置した。また、川島分署を川島消防署とし、消防本部4課(総務課、予防課、警防課、指令課)、2署(川越、川島)、5分署(新宿、霞ヶ関、高階、大東、東)体制となる。また、各消防署に消防課(消防係)を配置し、組織の充実強化を図る。

平成 4年

- 8 . 24 川越地区危険物安全協会より、連絡車1台の寄贈があり、消防本部に配置する。
10 . 5 消防本部増築棟3階建が完成する。

平成 5年

- 3 . 15 消防緊急通信指令装置(Ⅱ型)を増築棟の庁舎3階に設置した。
4 . 1 機構改革により、従来の消防本部警防課調査第1係、調査第2係を調査係とした。また、霞ヶ関分署を川越西消防署とし、消防本部4課(総務課、予防課、警防課、指令課)、3署(川越、川越西、川島)、4分署(新宿、高階、大東、東)体制となる。また、各消防署の消防課に庶務係を配置し、組織の充実強化を図る。
5 . 19 救急救命士国家試験に職員1人が合格、本組合第1号の救急救命士が誕生した。
9 . 1 日本損害保険協会より、水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈があり、川越西消防署に配置した。
10 . 11 川越地区消防組合発足20周年記念式典を川越市民会館で開催した。
10 . 30 川島消防署新庁舎、鉄筋コンクリート造2階建1, 136. 02㎡が完成し、竣工式を開催した。

平成 6年

- 3 . 31 川越西消防署新庁舎、鉄筋コンクリート造3階建1, 490. 08㎡が完成し、救助工作車Ⅱ型1台及び救助資機材一式を配置して、管内西部の消防力を充実強化した。

平成 7年

- 3 . 16 消防救助技術訓練施設整備のため、川島消防署に訓練塔(A塔)を設置した。
4 . 1 機構改革により、従来の総務課教養係を人事教養係とし、警防課救急係を救急救助係とした。また、警防課施設係を管理係とし総務課へ、調査係を調査第1係、調査第2係とし川越消防署消防課へ配置換えをした。また、消防署の中隊を廃止し、警備隊(14隊)救急隊(6隊)救助隊(2隊)とした。

平成 8年

- 2 . 14 阪神・淡路大震災を契機に、消防水利及び飲料水確保のため、小型動力ポンプ付水そう車を川越消防署に配置した。
高圧ボンベの普及により、空気充填の更なる迅速化を図るために、川島消防署に高圧ガス充填施設(12. 00㎡)を新設整備した。
3 . 29 災害時の応急救護所等に使用するため、エアーテントを川越消防署に配備した。

- 4 . 1 救急高度化推進事業の一環として、埼玉医科大学総合医療センターの医師による救急救命士法に基づいた指示体制が確立、本格的な救急救命士運用が始まる。
増加する救急要請に対応するため、高階分署の救急隊を専従体制とした。
- 5 . 8 阪神・淡路大震災を契機に、埼玉県下14消防本部（川越地区消防組合を含む）を中心とした彩の国レスキュー隊が発足した。
- 11 . 25 消防用無線局全国波を導入整備した。

平成 9年

- 3 . 19 彩の国レスキュー隊の発足に伴い、高度救助資器材を積載した救助工作車Ⅲ型を川越消防署に配置した。
- 3 . 21 震災対策用として可搬式小型動力ポンプを各署所に配置した。
- 4 . 1 川越地区消防組合救急高度化推進協議会を設置した。

平成10年

- 4 . 1 機構改革により、川越消防署消防課の調査第1係、調査第2係を第1調査隊、第2調査隊とし川越消防署に配置換えをした。また、大東分署の救急隊を専従体制とした。

平成11年

- 2 . 18 警防車を川越西消防署に配置した。
- 3 . 30 新宿分署新庁舎鉄筋コンクリート造3階建1, 772. 93㎡が完成し、竣工式を開催した。
- 4 . 1 多様化する災害への対応を図るため、救助隊を特別救助隊とし、新宿分署及び川越西消防署に配置した。

平成12年

- 2 . 1 川越消防署の水そう付消防ポンプ自動車を化学車に更新した。
- 3 . 2 はしご付消防ポンプ自動車を川越西消防署に配置した。
- 4 . 1 増加する救急要請に対応するため、東分署の救急隊を専従体制とした。

平成13年

- 4 . 1 増加する救急要請に対応するため、川島消防署の救急隊を専従体制とした。
川越地区消防組合消防音楽隊が設立される。
国際消防救助隊編成協力市町村の該当となり、8人の救助隊員を国際消防救助隊に登録した。
- 12 . 18 警防車を川越消防署に配置した。

平成14年

- 2 . 8 高規格救急車を川越西消防署に配置した。
- 4 . 1 規約を変更し、「高圧ガス保安法に基づく事務」、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく事務」及び「火薬類取締法及び施行規則に基づく事務」を新たに共同処理することとした。
複雑多様化する災害へ対応するため、第1指揮担当、第2指揮担当を川越消防署に配置した。
三交代制勤務の試行を指令課において開始する。
- 12 . 21 消防音楽隊発足式・演奏会をやまぶき会館にて開催した。

平成15年

- 4 . 1 機構改革により、従来の消防本部総務課人事教養係を職員係とし、川越消防署第1調査係、第2調査係を第1調査担当及び第2調査担当とした。
- 11 . 30 川越地区消防組合発足30周年記念式典をやまぶき会館にて開催した。

平成16年

- 4 . 1 機構改革により、消防本部に救急課(救急管理係、救急指導係)を配置し、従来の警防課を警防係、装備係の2係とした。また、川越西消防署名細分署を新設し、消防本部5課(総務課、予防課、警防課、救急課、指令課)、3署(川越、川越西、川島)、5分署(新宿、高階、大東、東、名細)体制となる。

川越市大字鯨井589番地1に名細分署庁舎鉄筋コンクリート造2階建1, 053. 16㎡が完成し、職員35人、水そう付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、高規格救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内西部の消防力を充実強化した。

平成17年

- 3 . 31 指令課において実施していた三交代制勤務の試行を終了する。
- 4 . 1 機構改革により、消防本部名称を川越地区消防局に改め、係制を廃止し担当制とした。総務課に消防団担当を配置し、総務担当、消防団担当、財務担当、職員担当、管理担当の5担当とした。また、従来の指令課を指揮統制課とし、川越消防署第1指揮担当、第2指揮担当及び第1調査担当、第2調査担当を第1指揮調査担当及び第2指揮調査担当とし、指揮統制課に配置換えをした。消防署にあっては、従来の川越消防署を川越北消防署に、東分署を南古谷分署とした。また、新宿分署を川越中央消防署として消防課を配置した。消防局5課(総務課、予防課、警防課、救急課、指揮統制課)、4署(川越北、川越中央、川越西、川島)、4分署(南古谷、高階、大東、名細)体制となり、組織の充実強化を図る。
- 11 . 21 川越市自治会連合会より、消防活動用自動二輪車(赤バイ)の寄贈があり、消防局に配置した。

平成18年

- 7 . 19 川越地区消防局を含む県内7消防本部の救助隊による機動救助隊、防災航空隊及び県内の医療機関による埼玉DMATで構成される埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)が発足する。
- 10 . 1 全国的な救助体制の強化を図るため、川越地区消防局を含む全国50の消防本部に高度救助隊が創設され、川越中央消防署に配置した。

平成19年

- 2 . 28 後方支援車を川越西消防署名細分署に配置した。

平成20年

- 2 . 1 消防緊急通信指令装置(Ⅱ型)を部分更新した。

平成22年

- 2 . 26 埼玉県防災ヘリコプターテレビ映像受信装置を設置した。
- 3 . 25 警防車を川島消防署に配置した。

平成24年

- 3 . 30 東日本大震災を契機に、震災対応体制の充実強化を図るため、震災対応初動資機材を各署所に配置した。

平成25年

- 1 . 15 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署高階分署に配置した。
- 12 . 21 川越地区消防組合設立40周年記念式典をやまぶき会館にて開催した。

平成26年

- 4 . 1 埼玉県広域災害・救急医療情報システムへのアクセス用タブレット端末を導入し、消防局指揮統制課及び救急自動車に配置した。

平成27年

- 3 . 26 消防力の強化を図るため、消防救急デジタル無線を導入整備した。
- 7 . 24 連絡車を川島消防署に配置した。
- 12 . 18 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越北消防署南古谷分署に配置した。

平成28年

- 1 . 27 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越北消防署に配置した。
- 12 . 14 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川島消防署に配置した。

平成29年

- 1 . 12 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署大東分署に配置した。
- 4 . 1 機構改革により、指揮統制課に指令管理担当を配置した。
- 12 . 14 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署に配置した。
- 12 . 18 高規格救急車を川越中央消防署に新たに配置した。

平成30年

- 4 . 1 機構改革により、指揮統制課の第1指揮調査担当及び第2指揮調査担当を第1指揮担当及び第2指揮担当とし、指揮隊を専従体制とした。また、火災調査に係る担当を火災調査担当とし、専従体制とするともに指揮統制課から予防課へ配置換えをした。また、救急課の救急管理担当及び救急指導担当を救急担当とし、消防課の庶務担当及び消防担当を管理指導担当とした。また、増加する救急要請に対応するため、中央消防署の救急隊を2隊体制とし、組織の充実強化を図る。
- 11 . 16 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越西消防署に配置した。

令和元年

- 4 . 1 機構改革により、消防局に新消防庁舎建設準備室(庁舎建設担当)を配置し、消防局5課及び1室(総務課、予防課、警防課、救急課、指揮統制課、新消防庁舎建設準備室)、4署(川越北、川越中央、川越西、川島)、4分署(南古谷、高階、大東、名細)体制となる。

令和3年

- 4 . 1 機構改革により、総務課の財務担当を企画財政担当とした。また川越北消防署に統括管理課(統括管理担当)を配置し、消防課の管理指導担当を指導担当とした。

令和5年

- 4 . 1 機構改革により、消防課を指導課に、警備課を消防課とし、消防課及び消防分署の第1警備担当及び第2警備担当を第1消防担当及び第2消防担当とした。
- 11 . 18 川越地区消防組合設立50周年記念式典をウェスタ川越にて開催した。
- 12 . 1 川越市川越地区消防組合一般会計高規格救急自動車整備事業費補助金(株ビー・エム・エル様から川越市への寄附金)を活用し、高規格救急自動車を川越西消防署に配置した。

令和7年

- 4 . 1 機構改革により、川越北消防署消防課に第3救急担当(日勤救急隊)を配置した。

○川越非常備消防

昭和49年

- 3 . 31 川越市消防団大東分団車庫木造モルタル平屋建49. 47㎡を移築した。

昭和51年

- 1 . 29 川越市消防団高階分団車庫ブロック造平屋建42. 0㎡を新築した。
11 . 1 川越市消防団山田分団車庫ブロック造平屋建53. 39㎡を新築した。

昭和52年

- 3 . 18 川越市消防団南古谷分団車庫鉄骨造2階建56. 0㎡を新築した。

昭和53年

- 3 . 30 川越市消防団第二分団車庫木造モルタル平屋建19. 04㎡を増改築し、48. 2㎡に整備した。
川越市消防団福原分団車庫木造モルタル平屋建12. 82㎡を増改築し、47. 53㎡に整備した。

昭和54年

- 3 . 22 川越市消防団名細分団車庫鉄骨造2階建66. 14㎡を新築した。

昭和56年

- 3 . 31 川越市消防団霞ヶ関分団車庫木造34. 65㎡に2階部分34. 6㎡を増築し、69. 26㎡に整備した。
11 . 27 川越市消防団古谷分団車庫ブロック造40. 64㎡に木造2階部分34. 61㎡を増築し、75. 25㎡に整備した。

昭和57年

- 12 . 20 川越市消防団第一分団車庫木造及びブロック造平屋建に8. 26㎡増築し、61. 15㎡に整備した。

昭和58年

- 9 . 9 川越市消防団芳野分団車庫ブロック造平屋建に1. 28㎡増築し、44. 86㎡に整備した。

昭和61年

- 2 . 10 日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞した。
3 . 31 川越市消防団福原分団車庫鉄骨造平屋建67. 62㎡を新築した。

昭和63年

- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を1人増員し、定数304人とした。
組織力強化のため、団本部の副団長を2人から3人体制とした。

平成 元年

- 3 . 11 川越市消防団大東分団車庫鉄骨造2階建84. 20㎡を新築した。

平成 3年

- 3 . 30 川越市消防団第三分団車庫鉄骨造2階建104. 52㎡を新築した。

平成 7年

- 3 . 31 川越市消防団第一分団車庫鉄筋コンクリート造2階建91. 8㎡を新築した。
川越市消防団古谷分団車庫鉄筋コンクリート造一部木造2階建99. 4㎡を新築した。

平成 8年

- 8 . 20 第19回埼玉県消防操法大会(ポンプ車の部)において優勝した。

平成10年

- 3 . 17 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団専用無線(基地局1台、車両積載12台、携帯型17台)を導入整備した。
- 4 . 1 組織力強化のため、団本部の副団長を3人から4人体制とした。

平成11年

- 2 . 9 日本消防協会表彰「表彰旗」を受賞した。
- 3 . 15 川越市消防団第二分団車庫鉄筋コンクリート造2階建109. 79㎡を新築した。
- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を1人増員し、定数305人とした。

平成15年

- 3 . 14 川越市消防団山田分団車庫鉄骨造2階建112. 00㎡を新築した。

平成16年

- 2 . 20 川越市消防団高階分団車庫鉄骨造2階建112. 00㎡を新築した。
- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を20人増員、定数325人とし、女性消防団員20人を新規に採用した。

平成17年

- 3 . 25 川越市消防団芳野分団車庫鉄骨造平屋建104. 00㎡を新築した。
- 10 . 20 川越市女性消防隊が第17回全国女性消防操法大会に埼玉県代表として出場し、準優勝した。

平成18年

- 3 . 28 川越市消防団霞ヶ関分団車庫鉄骨造平屋建100. 00㎡を新築した。

平成19年

- 3 . 1 川越市消防団南古谷分団車庫木造平屋建103. 10㎡を新築した。

平成20年

- 3 . 7 日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞した。
- 3 . 26 川越市消防団名細分団車庫鉄骨造平屋建100. 00㎡を新築した。

平成23年

- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を5人増員し、定数330人とした。

平成24年

- 5 . 31 災害活動の充実強化を図るため、簡易救助資機材を配置した。

平成25年

- 3 . 14 川越市消防団福原分団車庫鉄筋コンクリート造2階建99. 22㎡を新築した。

平成26年

- 9 . 9 災害活動の充実強化を図るため、各分団にチェンソーを配置した。

平成27年

- 1 . 11 一般社団法人日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽自動車の寄贈を受けた。
- 3 . 25 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団デジタル無線機器を導入整備した。
- 10 . 14 災害活動の充実強化を図るため、各分団にエンジンカッターを配置した。

令和元年

3 . 6 消防庁長官表彰「竿頭綬」を受賞した。

令和4年

3 . 4 日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞した。

令和5年

3 . 11 総務省消防庁から救助資機材積載型消防ポンプ自動車1台を無償貸付された。

令和6年

2 . 27 川越市消防団大東分団車庫鉄筋コンクリート造2階建て99.22m³を新築した。

○川島非常備消防

昭和49年

- 4 . 1 川島町消防団が改組され、3分団6部、定数150人の組織から1団本部6分団、定数118人の組織体制となる。

昭和50年

- 12 . 23 川島町消防団第五分団車庫ブロック造平屋建25. 21㎡を新築した。

昭和52年

- 3 . 31 川島町消防団第六分団車庫ブロック造平屋建49. 98㎡を新築した。

昭和58年

- 11 . 30 川島町消防団第三分団車庫ブロック造平屋建3. 3㎡を増築して23. 1㎡に整備した。

昭和60年

- 7 . 19 災害現場での迅速な指揮活動のため団本部指令車1台を購入した。

昭和63年

- 3 . 30 川島町消防団第三分団車庫鉄骨造平屋建29. 7㎡を新築した。

平成 3年

- 2 . 13 川島町消防団第二分団車庫鉄骨造平屋建49. 87㎡を新築した。

平成 4年

- 2 . 13 日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞した。

平成 7年

- 2 . 17 川島町消防団第一分団車庫鉄骨造平屋建60. 3㎡を新築した。

平成11年

- 3 . 5 消防庁長官表彰「表彰旗」を受賞した。

平成13年

- 3 . 28 川島町消防団第四分団車庫鉄骨造2階建85. 66㎡を新築した。

平成15年

- 3 . 21 川島町消防団第五分団車庫鉄骨造2階建88. 9㎡を新築した。

平成17年

- 2 . 3 川島町消防団第六分団車庫鉄骨造平屋建89. 43㎡を新築した。

平成18年

- 1 . 16 川島町消防団第二分団車庫鉄骨造平屋建2. 16㎡を増設した。(全体52. 03㎡)

平成19年

- 3 . 15 川島町消防団第三分団車庫鉄骨造平屋建89. 43㎡を新築した。

平成22年

- 4 . 1 川島町消防団団員の定数を6人増員、定数124人とし、女性消防団員7人を新規に採用した。

平成24年

5 . 31 災害活動の充実強化を図るため、簡易救助資機材を配置した。

平成25年

4 . 1 川島町消防団団員の定数を5人増員、定数129人とした。

平成26年

11 . 8 川島町消防団第五分団が第24回全国消防操法大会に埼玉県代表として出場し、敢闘賞を受賞した。

平成27年

3 . 25 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団デジタル無線機器を導入整備した。

平成28年

3 . 10 災害活動の充実強化を図るため、各分団にチェーンソーを配置した。

令和 6年

10 . 22 水害活動用資機材として、各分団にゴムボートを配置した。

管内情勢

川越市

川越市の位置

位置		面積	
北緯	35° 55' 30''	109.13km ²	
東経	139° 29' 08''	東西	16.27km
海拔	18.5m	南北	13.81km

川越市のプロフィール

川越市は、埼玉県の中央部よりやや南部、武蔵野台地の東北端に位置し、109.13平方キロメートルの面積と35万人を超える人口を有する都市です。都心から30キロメートルの首都圏に位置するベッドタウンでありながら、商品作物などを生産する近郊農業、交通の利便性を生かした流通業、伝統に培われた商工業、豊かな歴史と文化を資源とする観光など、充実した都市機能を有しています。

遠く古代より交通の要衝、入間地域の政治の中心として発展してきた川越は、平安時代には桓武平氏の流れをくむ武蔵武士の河越氏が館を構え勢力を伸ばしました。室町時代には、河越城を築城した太田道真・道灌父子の活躍により、扇谷上杉氏（おうぎがやつうえすぎし）が関東での政治・経済・文化の一端を担うとともに、河越の繁栄を築きました。江戸時代には江戸の北の守りとともに舟運を利用した物資の集積地として、川越地域は重要視されました。

大正11(1922)年には埼玉県内で初めて市制を施行し、昭和30(1955)年には隣接する9村を合併し現在の市域となりました。平成15(2003)年には埼玉県内で初めて中核市に移行、令和4(2022)年12月に市制施行100周年を迎えました。

川 島 町

川島町の位置

位置		面積	
北緯	35° 59' 34''	41.63km ²	
東経	139° 29' 03''	東西	11.2km
海拔	14.5m	南北	7.9km

川島町のプロフィール

川島町は埼玉県のほぼ中央に位置し、北は都幾川・市野川を境として東松山市・吉見町に、東は荒川を境として北本市・桶川市・上尾市に、南は入間川を境として川越市に、西は越辺川を境として坂戸市に接しています。

まさに“川に囲まれた島”そのものといえます。

面積は41.63平方キロメートルで、東西間11キロメートル、南北間8キロメートルです。

標高は平均14.5メートルで、高低差はほとんどなく、かつては見渡す限り水田地帯でした。

この地域に集落を形成して生活を営むようになったのは奈良時代の少し前ごろからとみられており、町内にはそのころの様子が見える「塚」や「塚の跡」が残っています。江戸時代になると川越藩の支配の中で農業生産が高まりましたが、反面、荒川の流れを現在の場所に変えたことで、たびたび水害に悩まされるようになりました。その後、時代が進むにつれ、河川改修や堤防の築造によって徐々に水害を克服してきました。

消防機関配置図

- 消防局
- 消防署
- 消防分署
- 消防団本部
- 消防分団



川越地区消防局・川越北消防署



🏠川越市神明町48番地4
☎️〈消防局〉049-222-0700 〈川越北消防署〉049-226-7290

川越中央消防署大東分署



🏠川越市南大塚1丁目1番地9 ☎️049-245-3119

川越北消防署南古谷分署



🏠川越市大字久下戸3528番地1 ☎️049-235-0801

川越西消防署



🏠川越市伊勢原町5丁目3番地 ☎️049-231-2066

川越中央消防署



🏠川越市新宿町2丁目14番地7 ☎️049-242-2365

川越西消防署名細分署



🏠川越市大字鯨井589番地1 ☎️049-234-0119

川越中央消防署高階分署



🏠川越市大字砂新田16番地3 ☎️049-243-8054

川島消防署



🏠比企郡川島町大字平沼888番地 ☎️049-297-1891

総

務

人口等の推移

(1) 川越市、川島町の状況

各年4月1日現在

年 \ 人口等	人口(人)		世帯数(世帯)		人口密度(人/㎢)	
	川越市	川島町	川越市	川島町	川越市	川島町
令和2年	353,456	19,863	160,831	8,090	3,239	477
令和3年	353,442	19,622	163,023	8,112	3,239	471
令和4年	352,896	19,281	164,413	8,108	3,234	463
令和5年	352,986	19,112	166,362	8,214	3,235	459
令和6年	352,836	18,784	168,317	8,234	3,233	451
令和7年	352,673	18,613	170,294	8,331	3,232	447

面積＝川越市109.13㎢

川島町41.63㎢

(2) 消防組合区域の状況

年 \ 人口等	人口(人)	世帯数(世帯)	人口密度(人/㎢)
令和2年	373,319	168,921	2,476
令和3年	373,064	171,135	2,475
令和4年	372,177	172,521	2,469
令和5年	372,098	174,576	2,468
令和6年	371,620	176,551	2,465
令和7年	371,286	178,625	2,463

面積＝150.76㎢

消防吏員、消防車等の人口、世帯、面積の割合

令和7年4月1日現在

人口等 \ 吏員等	現有数	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(㎢)
消防吏員1人当り	430人	861	414	0.35
消防ポンプ車1台当り	18台	20,627	9,924	8.38
救急車1台当り	13台	28,560	13,740	11.60
1署当り	8署	46,411	22,328	18.85

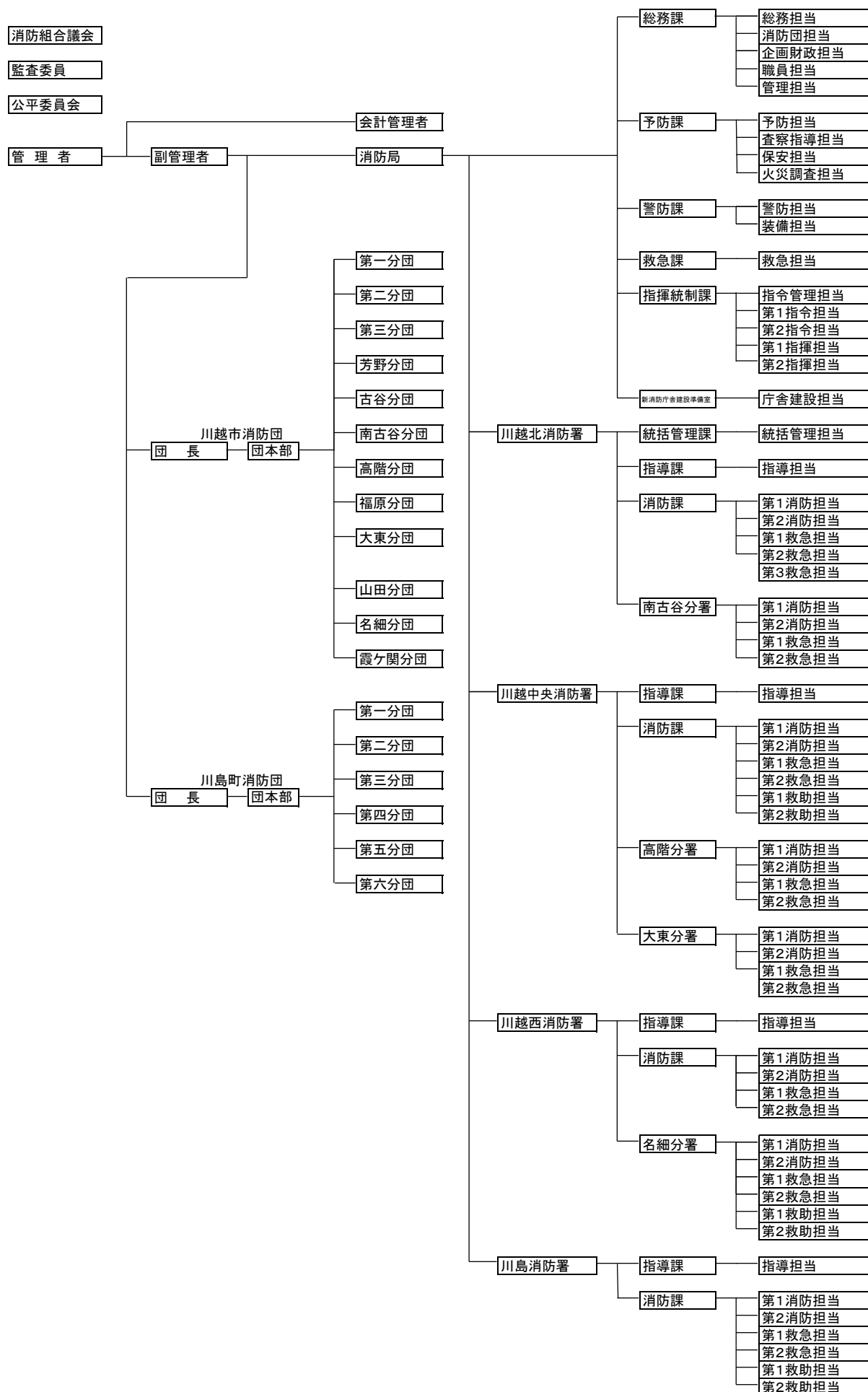
※定数外の職員を含みます。

※暫定再任用職員及び会計年度任用職員を含みません。

※消防ポンプ車は、消防ポンプ自動車、化学車及び非常用消防自動車が該当します。

川越地区消防組合機構図

令和7年4月1日



消防局・消防署事務分掌

令和7年4月1日現在

消防局

総務課	総務担当	1 組合議会に関すること。 2 儀式及び表彰に関すること。 3 文書の管理に関すること。 4 公印に関すること。 5 情報公開制度に関すること。 6 個人情報の保護に関すること。 7 条例及び規則等に関すること。 8 広報及び広聴の総合的な調整等に関すること。 9 監査に関すること。 10 公平委員会に関すること。 11 消防長会等に関すること。 12 課内の庶務事務に関すること。 13 その他他の主管に属さない事項に関すること。
	消防団担当	1 消防団に関すること。 2 消防協会に関すること。
	企画財政担当	1 総合計画に関すること。 2 行政組織に関すること。 3 本部会議、所属長会議及び担当会議に関すること。 4 消防統計(他の主管に属する統計を除く。)に関すること。 5 予算の編成に関すること。 6 予算の執行計画、配当及び執行統制に関すること。 7 物品の出納及び保管に関すること。 8 決算に関すること。
	職員担当	1 職員の任免、分限、懲戒その他勤務条件に関すること。 2 職員の服務その他身分取扱いに関すること。 3 職員の配置に関すること。 4 職員等の旅費に関すること。 5 職員の給与に関すること。 6 職員の給貸与物品に関すること。 7 職員の教養及び研修に関すること。 8 職員の福利厚生に関すること。 9 職員の労働安全衛生に関すること。 10 職員の公務災害補償に関すること。 11 市町村職員共済組合に関すること。
	管理担当	1 公有財産の取得、管理及び処分に関すること。 2 契約に関すること。 3 国庫及び県費の補助に関すること。
予防課	予防担当	1 火災予防に係る事業計画の立案及び事業の実施に関すること。 2 防火管理に関すること。 3 消防用設備等の指導に関すること。 4 消防法(昭和23年法律第186号)第7条に基づく建築物の許可等の同意に関すること。 5 法令に基づく各種届出に関すること。 6 予防統計に関すること。 7 住民の防火組織の育成指導に関すること。 8 自衛消防の育成指導に関すること。 9 危険物防火安全協会に関すること。 10 課内の庶務事務に関すること。

予 防 課	査察指導担当	1 消防対象物の査察に関する事。 2 違反防火対象物の改善指導に関する事。 3 表示及び公表の制度に関する事。 4 住宅防火対策に関する事。
	保安担当	1 危険物の規制に関する事。 2 危険物製造所等の許認可、査察、事故原因調査及び事故防止対策指導に関する事。 3 少量危険物及び指定可燃物の規制に関する事。 4 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)に基づく事務に関する事。 5 火薬類取締法(昭和25年法律第49号)に基づく事務に関する事。 6 高压ガス保安法(昭和26年法律第204号)に基づく事務に関する事。
	火災調査担当	1 火災の原因及び損害の調査、報告及び統計に関する事。 2 火災証明に関する事。 3 火災調査技術の研究に関する事。
警 防 課	警防担当	1 警防及び救助業務に係る企画立案に関する事。 2 警防活動体制に関する事。 3 消防相互応援協定に関する事。 4 緊急消防援助隊に関する事。 5 警防計画に関する事。 6 警防本部の運営に関する事。 7 消防水利に関する事。 8 救助統計に関する事。 9 国際消防救助隊に関する事。 10 課内の庶務事務に関する事。
	装備担当	1 消防車両及び消防資機材の整備に関する事。 2 消防車両の管理に関する事。 3 公用車の事故処理に関する事。 4 安全運転管理の指導に関する事。
救 急 課	救急担当	1 救急業務に係る企画立案に関する事。 2 救急自動車及び救急資機材の整備に関する事。 3 医療機関等との連絡調整に関する事。 4 救急出場証明に関する事。 5 救急高度化の推進に関する事。 6 救急統計に関する事。 7 応急手当の普及及び啓発に関する事。 8 患者等搬送事業に係る認定及び指導に関する事。 9 メディカルコントロールに関する事。
指 揮 統 制 課	指令管理担当	1 消防緊急通信指令施設に関する事。 2 消防気象観測装置の管理に関する事。 3 課内の庶務事務に関する事。
	第1指令担当 及び 第2指令担当	1 緊急通報受信及び出場指令に関する事。 2 災害等の情報の収集及び連絡に関する事。 3 災害現場への支援情報に関する事。
	第1指揮担当 及び 第2指揮担当	1 災害現場における指揮活動に関する事。 2 災害現場における情報収集及び現場広報に関する事。 3 警防活動技術の調査、研究及び計画に関する事。 4 消防部隊の教育訓練の計画及び実施に関する事。
新 設 消 防 備 庁 舎	庁舎建設担当	1 新消防庁舎建設に関する事。

川越北消防署 南古谷分署
川越中央消防署 高階分署 大東分署
川越西消防署 名細分署
川島消防署

(川越北消防署) 統括管理課	統括管理担当	1 消防署の予算(川島町消防団予算を除く。)の執行事務に関すること。 2 署会議及び署担当会議に関すること。 3 消防署間の事務の調整に関すること。 4 職員の教養及び研修に関すること。
指導課(消防署)	指導担当	1 消防署に係る公印に関すること。 2 署長等が主宰する会議に関すること。 3 住宅防火対策に関すること。 4 消防対象物の査察の実施に関すること。 5 圧縮アセチレンガス等の貯蔵及び取扱いに関すること。 6 少量危険物及び指定可燃物の規制に関すること。 7 防火対象物に対する防火管理に関すること。 8 火災予防等の計画及び実施に関すること。 9 法令に基づく届出に関すること。 10 訓練指導に関すること。 11 消防署内の事務の調整に関すること。 12 川島町消防団に関すること(川島消防署指導課に限る。) 13 消防協会に関すること(川島消防署指導課に限る。)。
消防課(消防署)・分署	第1消防担当 及び 第2消防担当	1 水火災、救助等の災害時等の出動に関すること。 2 消防対象物の査察の実施に関すること。 3 防火対象物に対する防火管理に関すること。 4 住宅防火対策に関すること。 5 火災等の調査に関すること。 6 法令に基づく届出に関すること。 7 訓練指導に関すること。 8 消防車の維持管理に関すること。 9 消防資機材の運用及び維持管理に関すること。 10 警防活動及び救助活動の研究に関すること。 11 警防調査に関すること。 12 課(分署)内の庶務事務に関すること。
	第1救急担当、 第2救急担当 及び 第3救急担当	1 救急の出動に関すること。 2 応急手当の指導に関すること。 3 救急車の維持管理に関すること。 4 救急資機材の運用及び維持管理に関すること。 5 救急医薬品に関すること。 6 救急活動の研究に関すること。
	第1救助担当 及び 第2救助担当 川越中央消防署 名細分署 川島消防署	1 水火災、救助等の災害時の出動に関すること。 2 消防対象物の査察の実施に関すること。 3 防火対象物に対する防火管理に関すること。 4 住宅防火対策に関すること。 5 火災等の調査に関すること。 6 法令に基づく届出に関すること。 7 訓練指導に関すること。 8 救助工作車等の維持管理に関すること。 9 救助資機材等の運用及び維持管理に関すること。 10 救助活動の研究に関すること。 11 救助活動及び警防活動に伴う警防調査に関すること。

職員の配置状況

令和7年4月1日現在

階級 署所	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	消防吏員以外の職員	合 計
消防局	1	3	10	20	36	6(5)	4	2	1	83(5)
川越北消防署		1	3	9	18	4(3)	6	8		49(3)
南古谷分署			1	4	12	6	5	5		33
川越中央消防署		1	2	6	24	18(1)	9	10		70(1)
高階分署			1	4	14	5	3	6		33
大東分署			1	4	12	4	5	7		33
川越西消防署		1	2	6	17	4(1)	5	7		42(1)
名細分署			1	4	20	4	6	10		45
川島消防署		1	2	5	13	9(1)	3	10		43(1)
合計	1	7	23	62	166	60(11)	46	65	1	431(11)

※ 定数外の職員を含みます。

(単位:人)

※ ()は、短時間勤務の職員の数を外書しています。

※会計年度任用職員を除いています。

消防自動車の配置状況

令和7年4月1日現在

車両 署所	水槽付 ポンプ 自動車	ポンプ 自動車	化学車	水槽車	高規格 救急車	救 助 工作車	はしご車	指揮車	調査車	指令車	後 方 支援車	警防車	広報車	その他	合 計	小 型 動 力 ポンプ
消防局								1	1	3				1【赤バイ】 5【連絡車】	11	
川越北消防署		1	1		1(1)		1					1	1	1【マイクロ】 2【連絡車】	9(1)	2
南古谷分署	1	1			1(1)							1	1		5(1)	1
川越中央消防署		1(1)	1		2	1	1					1	1	2【連絡車】	10(1)	1
高階分署	1	1			1		1						1		5	1
大東分署		1	1	1	1								1		5	1
川越西消防署	1	1(1)			2		1						1	1【連絡車】	7(1)	1
名細分署	1	1			1(1)	1					1	1	1		7(1)	1
川島消防署	1	1			1	1						1	1	1【起震車】 1【連絡車】	8	1
合計	5	8(2)	3	1	10(3)	3	4	1	1	3	1	5	8	14	67(5)	9

※ ()は、非常用車両の台数を外書しています。

(単位:台)

基準消防力と現有消防力の比較

令和7年4月1日現在

区分	基準消防力(署)	現有消防力(署)	充足率(%)
署所の数	10	8	80

区分	基準台数	現有台数	充足率(%)	基準人員	現有人員	充足率(%)
消防ポンプ自動車	15	13	87	411	324	79
はしご車	3	4	133			
化学車	3	3	100			
救急車	11	10	91			
救助工作車	3	3	100			
指揮車	2	1	50			
特殊車両等	8	8	100			
非常用消防自動車	2	2	100			
非常用救急車	2	3	150			
通信員				18	18	100
予防要員				67(15)	52(15)	78
庶務処理等の人員				66	63	96
合計				547	442	81

※ 表中の数値は、消防力の整備指針が定める算出基準によるものです。

※ () は、交代制勤務の職員による兼務要員の数を内書きしたもので、合計に重複計上していません。

※ 現有人員は、暫定再任用職員及び会計年度任用職員を含みます。

川越市・川島町予算（一般会計）消防組合予算（当初）

（1）市・町予算に対する消防組合の割合

区分 年度	川越市予算 (千円)	川島町予算 (千円)	合計 (千円)	消防組合 予算 (千円)	市町予算 合計額に 対する組合 予算の割合 (%)	住民1人 当たりの 組合予算 (円)	消防職員1人 当たりの常 備消防予算 (円)
令和5年度	121,000,000	7,750,000	128,750,000	5,924,674	4.6	15,922	12,313,006
令和6年度	128,350,000	8,877,000	137,227,000	9,573,691	7.0	25,762	20,768,793
令和7年度	136,970,000	9,323,000	146,293,000	10,787,168	7.4	29,054	22,870,248

（2）市・町予算に対する消防組合負担金等の割合

区分 年度	川越市 負担金等 (千円)	川越市予算 に対する 負担割合 (%)	川島町 負担金等 (千円)	川島町予算 に対する 負担割合 (%)	共通経費負担割合	
					川越市 (%)	川島町 (%)
令和5年度	4,551,485	3.8	525,250	6.8	90	10
令和6年度	4,908,441	3.8	568,316	6.4	90	10
令和7年度	5,432,482	4.0	627,981	6.7	90	10

※ 負担金等：負担金及び受託料を含みます。

消防組合予算（当初）

（1）歳入

区分	令和7年度		令和6年度	
	年度予算額等 予算額(千円)	構成割合(%)	年度予算額等 予算額(千円)	構成割合(%)
分担金及び負担金	6,036,856	56.0	5,463,815	57.1
使用料及び手数料	4,939	0.0	4,938	0.1
財産収入	518	0.0	960	0.0
寄附金	1	0.0	1	0.0
繰越金	25,000	0.2	50,000	0.5
諸収入	42,554	0.4	26,624	0.3
組合債	4,677,300	43.4	4,027,353	42.1
歳入合計	10,787,168	100.0	9,573,691	100.0

(2) 歳 出

年度予算額等 区 分	令和7年度		令和6年度	
	予算額（千円）	構成割合（%）	予算額（千円）	構成割合（%）
議会費	15,353	0.1	5,464	0.1
総務管理費	4,969	0.0	3,788	0.0
監査委員費	546	0.0	382	0.0
常備消防費	9,948,558	95.2	9,034,425	94.4
非常備消防費	202,154	1.9	192,995	2.0
水利施設費	97,016	0.9	112,313	1.2
自警消防費	23,607	0.2	6,471	0.1
公債費	490,465	4.5	213,353	2.2
予備費	4,500	0.0	4,500	0.0
歳出合計	10,787,168	100.0	9,573,691	100.0

消防組合予算性質別内訳（当初）

年度予算額等 区 分	令和7年度		令和6年度	
	予算額（千円）	構成割合（%）	予算額（千円）	構成割合（%）
人件費	4,478,111	41.5	4,313,111	45.1
物件費	523,734	4.9	460,432	4.8
維持補修費	12,283	0.1	16,195	0.2
補助費等	121,371	1.1	139,730	1.5
普通建設事業費	5,156,604	47.8	4,376,360	45.7
公債費	490,465	4.5	213,353	2.2
積立金	100	0.0	50,010	0.5
予備費	4,500	0.0	4,500	0.0
歳出合計	10,787,168	100.0	9,573,691	100.0

※ 構成割合（%）は、原則として小数点以下第2位を四捨五入しています。
したがって、構成割合は、合計が100%とならない場合があります。

消防庁舎の現況

令和7年4月1日現在

署所	所在地	建築年月日	構造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)
消防局	〒350-0823 川越市神明町48-4	S49.11.21 H 4.10. 5 (増築)	鉄筋コンクリート造3階建 鉄筋コンクリート造3階建	4,103.26	791.80 238.06	2,237.66
川越北消防署	消防局と併用	-	-	-	-	-
南古谷分署	〒350-0011 川越市大字久下戸 3528-1	S61. 6.25	鉄筋コンクリート造 2階建一部平屋建	2,432.00	367.02	451.08
川越中央消防署	〒350-1124 川越市新宿町 2-14-7	H10.11.13	鉄筋コンクリート造3階建	3,097.26	918.145	1,772.93
高階分署	〒350-1137 川越市大字砂新田 16-3	S47. 8.30	鉄筋コンクリート造3階建	1,755.72	409.01	1,038.13
大東分署	〒350-1119 川越市南大塚1-1-9	S54. 3.15 H30. 3.28 (増築)	鉄筋コンクリート造平屋建 鉄骨造平屋建	1,578.08	398.80 48.59	441.55
川越西消防署	〒350-1108 川越市伊勢原町5-3	H 6. 3.31	鉄筋コンクリート造3階建	1,598.72	528.00	1,490.08
名細分署	〒350-0815 川越市大字鯨井 589-1	H16. 3.31	鉄筋コンクリート造2階建	3,535.00	1,053.16	1,498.66
川島消防署	〒350-0131 川島町大字平沼888	H 5. 7.12	鉄筋コンクリート造2階建	5,135.53	715.27	1,136.02

令和6年度主要な施設等の整備

事業名	事業内容	事業費
施設関係	川越西消防署エレベーター改修工事	25,960,000
	庁舎等整備 川越西消防署トイレ改修工事設計業務委託	1,980,000
	川越消防団芳野分団車庫外壁等改修工事	6,598,900
	消防局庁舎 整備推進 川越北消防署訓練塔新築工事単価入替等業務委託	6,600,000
	新消防庁舎新設工事に伴う支障電柱移設工事	7,617,388
	川越地区消防局・川越北消防署新築工事(3箇年継続事業 2年目)	864,300,000
	川越地区消防局・川越北消防署新築電気設備工事(3箇年継続事業 2年目)	132,600,000
	川越地区消防局・川越北消防署新築空調設備工事(3箇年継続事業 2年目)	93,600,000
	川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事(2箇年継続事業 1年目)	75,900,000
	川越地区消防局・川越北消防署雨水貯留槽設置工事(2箇年継続事業 1年目)	109,000,000
	川越地区消防局・川越北消防署1期外周道路整備工事(2箇年継続事業 1年目)	23,600,000
	川越地区消防局・川越北消防署2期擁壁工事(2箇年継続事業 1年目)	24,700,000
備品関係	消防局庁舎 建設事業 (庁舎棟等)	98,800,000
	消防指令センター整備事業 新消防指令センター整備工事	1,300,000
	消防水利整備 (川越市)	21,547,900
	広報車(名細分署)	41,250,000
備品関係	車両等整備 水槽付消防ポンプ自動車(川越西消防署)	73,150,000
	高規格救急自動車(川越中央消防署・川越西消防署)	6,235,680

(単位:円)

職員定数・実員の推移

各年4月1日現在

	定数	実員	定数条例改正年月日		定数	実員	定数条例改正年月日
昭和 48年	165	143	昭和48年4月1日	平成 12年	371	368	平成12年4月1日
49年	166	166	昭和49年4月1日	13年	377	375	平成13年4月1日
50年	167	167	昭和50年4月1日	14年	391	391	平成14年4月1日
51年	167	167		15年	407	407(2)	平成15年4月1日
52年	167	166		16年	424	424	平成16年4月1日
53年	174	167	昭和53年4月1日	17年	424	424	
54年	195	195	昭和54年4月1日	18年	428	428	平成18年4月1日
55年	203	202	昭和55年4月1日	19年	428	428	
56年	207	207	昭和56年4月1日	20年	428	428	
57年	212	212	昭和57年4月1日	21年	428	427(2)	
58年	215	214	昭和58年4月1日	22年	428	428(5)	
59年	215	214		23年	428	428(12)	
60年	215	214		24年	428	428(14)	
61年	236	233	昭和61年4月1日	25年	428	428(12)	
62年	236	236		26年	428	428(19)	
63年	236	235		27年	428	428(13)	
平成 元年	240	237	平成元年4月1日	28年	428	427(17)	平成28年4月1日 定数外の職員に係る規定の追加
2年	240	240		29年	428	428(11)	
3年	250	244	平成3年4月1日	30年	428	429(8)	
4年	267	265	平成4年4月1日	令和 元年	433	434(6)	平成31年4月1日
5年	287	286	平成5年4月1日	2年	433	432(8)	
6年	320	308	平成6年4月1日	3年	433	434(10)	
7年	325	323	平成7年4月1日	4年	435	435(11)	令和4年4月1日
8年	337	337	平成8年4月1日	5年	435	433(11)	
9年	342	340	平成9年4月1日	6年	435	434(10)	
10年	352	352	平成10年4月1日	7年	435	431(11)	
11年	361	360	平成11年4月1日				

※()は、短時間勤務の職員の数を外書しています。
 ※平成28年度以降の実員については、定数外の職員を含みます。
 ※会計年度任用職員は除いています。

職員の年齢

令和7年4月1日現在

階級等 年齢	消 防 吏 員								消 防 吏 員 以 外 の 職 員	合 計
	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
18歳								2		2
19歳								1		1
20歳								1		1
21歳								4		4
22歳								6		6
23歳								5		5
24歳								6		6
25歳								10		10
26歳								12		12
27歳								5		5
28歳							2	7		9
29歳							8	4		12
30歳							9	1		10
31歳						1	5	1		7
32歳						6	4			10
33歳						2	8			10
34歳						3	4			7
35歳						10	2			12
36歳					2	3				5
37歳					1	10	1			12
38歳					2	3	2			7
39歳					7	3	1			11
40歳					7	6				13
41歳					9	3				12
42歳					3	4				7
43歳					11					11
44歳					13	1				14
45歳					15	2				17
46歳					17				1	18
47歳					17	1				18
48歳				1	17	2				20
49歳				5	17					22
50歳				13	8					21
51歳			1	13	12					26
52歳				9	4					13
53歳			1	4						5
54歳			2	5	1					8
55歳			5	6	1					12
56歳		1	3							4
57歳		1	6	3						10
58歳		4	3	2	1					10
59歳	1	1	2	1						5
60歳					1					1
61歳										0
62歳										0
63歳										0
64歳										0
合計（人）	1	7	23	62	166	60	46	65	1	431
平均（歳）	59.0	57.7	56.0	52.1	46.0	37.6	31.8	24.9	46.0	41.8

※ 定数外の常勤の職員を含み、短時間勤務の職員を除いています。

職員の勤続年数

令和7年4月1日現在

階級等 年数	消 防 吏 員								消 防 吏 員 以 外 の 職 員	合 計
	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
1年未満								6		6
1年以上								3		3
2年以上								5		5
3年以上								10	1	11
4年以上								15		15
5年以上								8		8
6年以上							3	4		7
7年以上							6	8		14
8年以上							4	2		6
9年以上							4	4		8
10年以上						1	4			5
11年以上						3	5			8
12年以上						3	2			5
13年以上						5	3			8
14年以上					2	13	7			22
15年以上					3	5	4			12
16年以上					4	8	3			15
17年以上					2	6	1			9
18年以上					5					5
19年以上					5	3				8
20年以上					3	1				4
21年以上					14	4				18
22年以上					16	3				19
23年以上					16	1				17
24年以上					11	1				12
25年以上				1	11	3				15
26年以上				1	11					12
27年以上				3	12					15
28年以上			1		10					11
29年以上			1	4	12					17
30年以上				5	10					15
31年以上				5	11					16
32年以上			1	13	4					18
33年以上			3	14	1					18
34年以上			1	7						8
35年以上			1	2	1					4
36年以上		1	3	2	1					7
37年以上										0
38年以上		1	3	2						6
39年以上	1	5	7	3	1					17
40年以上										0
41年以上			2							2
42年以上										0
43年以上										0
44年以上										0
45年以上										0
46年以上										0
合計（人）	1	7	23	62	166	60	46	65	1	431
平均（年）	39.0	38.4	36.3	32.3	24.8	16.3	11.1	4.2	3.0	21.0

※ 定数外の常勤の職員を含み、短時間勤務の職員を除いています。

職員の採用、退職等の状況

職員数等 年度	職員数 (4月1日現在)	採用人員	退職人員
令和4年度	435	10	8
令和5年度	433	6	2
令和6年度	434	3	9
令和7年度	431	6	-

※ 定数外の常勤の職員を含み、短時間勤務の職員を除いています。

※ 令和7年度の採用人員数は、4月1日現在のものとなります。

職員の教養実施状況

(1) 消防大学校

教養課程 年度	上級 幹部科	幹部科	警防科	予防科	救急科	救助科	火災 調査科	高度救助 コース	NBC コース	女性活躍 推進コース	査察業務 コース	合計
令和4年度	1	1						1		1		4
令和5年度						1				1		2
令和6年度	1	1									1	3

(単位:人)

(2) 県消防学校

教養課程 年度	初任教育	専科						幹部教育	特別教育	合計
		予防査察	警防	特殊災害	救急	救助	火災調査			
令和4年度	13	3	2	2	12	2		2	4	40
令和5年度	13		3		12	3	2	2	6	41
令和6年度	5	3	2	2	16	3		2	4	37

(単位:人)

(3) その他

- ・ 消防長訓示 毎月初旬、全職員を対象として通常点検訓示を実施しています。
- ・ 一般教養 職員を対象とした各種研修等を適宜実施しています。

消防音楽隊

儀式、式典及び諸行事に参加し、演奏によりその意義を高めるとともに市町民との融和を図り、消防業務の推進に寄与することを任務とし、平成13年4月1日に設立。消防関係行事をはじめ市町主催の各種行事にも出場し、広く市町民に対して消防に対する認識、理解を深め、防火・防災思想の普及啓発と消防のPRに努めています。

1 編 成

隊員編成

令和7年4月1日現在

隊長 1名	副隊長 3名	隊員 33名
-------	--------	--------

保有楽器

楽器名	数量	楽器名	数量
シンバル	1	ティンパニー	4
鉄琴	2	ドラム	1
木琴	1	バリトン	1
トランペット	5	電子ピアノ	1
サクソフォン	7	エレキベース	1
フレンチホルン	4	チューバ	2
トロンボーン	4	ユーフォニウム	2
クラリネット	6	コンサートドラム	1
ピッコロ	1	チャイム	1
フルート	3	シロホン	1

2 活動状況

令和6年度

種別 月	訓練回数		出演状況内訳			
	合同 訓練	パート 訓練	消 防 関 係	市 町 関 係	その他	備考
4月	2	4				
5月	2	4				
6月	2	4				
7月	3	4				
8月	2	4				
9月	3	4				
10月	3	4		1		伊草小学校150周年記念式典
11月	3	4		1		かわじま音楽祭
12月	3	4		1		霞ヶ関小学校50周年記念事業
1月	3	4				
2月	2	4	1			第18回定期演奏会
3月	2	4				
合 計	30	48	1	3	0	

消防相互応援協定等の状況

令和7年4月1日現在

(1) 消防相互応援協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成10年12月25日	比企広域市町村圏組合
2	平成18年9月5日	さいたま市
3	平成18年11月1日	上尾市
4	平成19年7月1日	埼玉県下消防相互応援協定
5	平成20年3月10日	坂戸・鶴ヶ島消防組合
6	平成25年4月1日	埼玉西部消防組合
7	平成27年10月30日	埼玉県央広域事務組合・桶川市・北本市
8	平成30年4月1日	入間東部地区事務組合
9	令和5年4月1日	高崎市・安中市消防組合

(2) 防災ヘリコプター応援協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成3年3月29日	埼玉県

(3) 関越自動車道・首都圏中央連絡自動車道における消防相互応援協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成31年4月1日	埼玉県下10消防機関

(4) 鉄道災害における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成18年12月1日	埼玉県、埼玉県下全消防機関、県内鉄道事業者(11社)

(5) 災害時における高速自動車国道等の使用の取り扱いに関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成19年11月27日	埼玉県、埼玉県下全消防機関、県内埼玉DMAT登録医療機関

(6) 自衛隊又は米軍の航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	令和4年7月29日	埼玉県、埼玉県警察本部、航空自衛隊中部航空警戒管制団 他

(7) 埼玉医科大学総合医療センター場外離着陸場を利用した救急搬送に関する協定書

	締結年月日	締結団体名
1	平成26年2月1日	埼玉県、埼玉医科大学総合医療センター

(8) 救急ワークステーションの運営に関する基本協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成30年2月7日	埼玉医科大学総合医療センター

(9) 大規模火災発生時の消火用水搬送協力に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成30年4月1日	埼玉中央生コン協同組合、株式会社川村興産 東和アークス株式会社
2	平成30年10月1日	有限会社渋谷建材、有限会社貫井建材店

(10) 災害時に必要な燃料等の優先供給に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成30年4月1日	埼玉中央農業協同組合、埼玉中央農業協同組合川島基幹支店
2	平成30年7月1日	有限会社山口油材、相沢石油店、株式会社伊藤興産、永翔石油株式会社、有限会社中村石油、野口石油株式会社

(11) 災害時における消防活動の協力に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	令和2年3月19日	埼玉県解体業協会

(12) 災害時における無人航空機による情報収集活動の協力に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	令和2年11月1日	株式会社ジュンテクノサービス

予 防

法令に基づく各種届出状況

各年度

	防火管理		防災管理		防火対象物使用開始	電気設備	火を使用する設備等	催物
	選解任	消防計画	選解任	消防計画				
令和4年度	710	797	15	18	317	83	45	2
令和5年度	912	885	16	27	341	83	55	3
令和6年度	752	920	18	24	366	95	59	3

防火・防災管理者選任(解任)届出状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

区分			防火管理	防災管理	区分			防火管理	防災管理
(1)	イ	劇場等	3	0	(8)		図書館等	2	0
	ロ	公会堂等	40	0	(9)	イ	特殊浴場	0	0
(2)	イ	キャバレー等	0	0		ロ	一般浴場	1	0
	ロ	遊技場等	6	0	(11)		神社・寺院等	1	0
	ハ	性風俗特殊営業店舗等	0	0	(12)	イ	工場等	34	5
	ニ	カラオケボックス等	2	0	(12)	ロ	スタジオ	0	0
(3)	イ	料理店等	1	0	(13)	イ	駐車場等	0	0
	ロ	飲食店	54	0		ロ	航空機格納庫	0	0
(4)		百貨店等	108	0	(14)		倉庫	17	0
(5)	イ	旅館等	1	0	(15)		事務所等	88	1
	ロ	共同住宅等	78	0	(16)	イ	特定複合用途防火対象物	185	10
(6)	イ	病院等	10	0		ロ	非特定複合用途防火対象物	11	0
	ロ	特別養護老人ホーム等	42	0	(16-2)		地下街	0	0
	ハ	老人デイサービスセンター等	24	0	(16-3)		準地下街	0	0
	ニ	幼稚園等	6	0	(17)		文化財	1	0
(7)		学校	34	1	合 計			912	17

消防用設備等設置届出状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

消防用設備等	署所(区域)	消防局	川越北消防署	川越中央消防署	川越西消防署	川島消防署	合計
消火器		107	14	31	10	5	167
屋内消火栓設備		12	6	4	11	1	34
スプリンクラー設備		3	4	23	4	1	35
水噴霧消火設備							0
泡消火設備				3		1	4
不活性ガス消火設備			1	1			2
ハロゲン化物消火設備							0
粉末消火設備		5	4	1			10
屋外消火栓設備		1	2	1			4
動力消防ポンプ設備			1				1
自動火災報知設備		56	73	156	41	17	343
ガス漏れ火災警報設備					1		1
漏電火災警報器		2			2		4
消防機関へ通報する火災報知設備		4	4	6	2	3	19
非常警報設備		21	12	30	6	2	71
避難器具		42	5	18	3		68
誘導灯・誘導標識		55	49	97	33	16	250
消防用水							0
排煙設備							0
連結散水設備							0
連結送水管		10		1	1		12
非常用コンセント		5					5
無線通信補助設備							0
必要とされる防火安全性能を有する 消防の用に供する設備等 ※		10	7	13	1		31
合計		333	182	385	115	46	1061

※ パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、特定駐車場用泡消火設備、特定小規模施設用自動火災報知設備、複合型居住施設用自動火災報知設備、加圧防排煙設備、共同住宅用スプリンクラー設備、共同住宅用自動火災報知設備、住戸用自動火災報知設備、共同住宅用非常警報設備

建築物同意状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

防火対象物		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
(1)	イ 劇場等														0
	ロ 公会堂等								1	1					2
(2)	イ キャバレー等														0
	ロ 遊技場等							1							1
	ハ 性風俗特殊営業店舗等														0
	ニ カラオケボックス等														0
(3)	イ 料理店等														0
	ロ 飲食店				1				2	1		1			5
(4)	百貨店等			1	2	3	1	1	2	1			1		12
(5)	イ 旅館等														0
	ロ 共同住宅等		2	5	7	11	5	7	1	3	7	8	7	15	78
(6)	イ 病院等									3		1	2		6
	ロ 特別養護老人ホーム等					1				1					2
	ハ 老人デイサービスセンター等		1	2		1		1		2	1	1		1	10
	ニ 幼稚園等														0
(7)	学校														0
(8)	図書館等														0
(9)	イ 特殊浴場														0
	ロ 一般浴場														0
(10)	停車場等					1	1								2
(11)	神社・寺院等				1							1			2
(12)	イ 工場等		1	2		4	1	2	1	1		1	3		16
	ロ スタジオ														0
(13)	イ 駐車場等									1					1
	ロ 航空機格納庫														0
(14)	倉庫		1	1	2	1	1		1			2	1	6	16
(15)	事務所等		2	2	14	2	2		7	2	3	3	2	2	41
(16)	イ 特定複合用途防火対象物		4	3		3		1		1	2	4	1		19
	ロ 非特定複合用途防火対象物		1												1
(16-2)	地下街														0
(16-3)	準地下街														0
(17)	文化財														0
危険物施設															0
住宅等(長屋、住宅の付属建築物及び併用住宅含む)			12	8	7	14	11	14	15	18	16	12	6	10	143
合 計			24	24	34	41	22	27	30	35	29	34	23	34	357

用途別防火対象物数

令和7年4月1日現在

防火対象物			署所(区域)	川越北消防署	川越中央消防署	川越西消防署	川島消防署	合計
(1)	イ	劇場等		3				3
	ロ	公会堂等		13	17	10	9	49
(2)	イ	キャバレー等						0
	ロ	遊技場等		5	12	6	1	24
	ハ	性風俗特殊営業店舗等						0
	ニ	カラオケボックス等			7	2		9
(3)	イ	料理店等						0
	ロ	飲食店		163	155	58	43	419
(4)		百貨店等		189	266	84	37	576
(5)	イ	旅館等		17	24	20		61
	ロ	共同住宅等		861	2,369	891	50	4,171
(6)	イ	病院等		43	63	36	11	153
	ロ	特別養護老人ホーム等		34	53	46	7	140
	ハ	老人デイサービスセンター等		85	136	89	12	322
	ニ	幼稚園等		21	19	10	1	51
(7)		学校		110	103	78	14	305
(8)		図書館等		9		1	2	12
(9)	イ	特殊浴場						0
	ロ	一般浴場		2	1			3
(10)		停車場等		2	7	3		12
(11)		神社・寺院等		54	52	17	20	143
(12)	イ	工場等		383	434	275	202	1,294
	ロ	スタジオ			2	1		3
(13)	イ	駐車場等		23	50	11	18	102
	ロ	航空機格納庫		1			3	4
(14)		倉庫		313	314	159	177	963
(15)		事務所等		513	747	359	251	1,870
(16)	イ	特定複合用途防火対象物		290	465	106	28	889
	ロ	非特定複合用途防火対象物		104	237	70	14	425
(16-2)		地下街						0
(16-3)		準地下街						0
(17)		文化財		16			3	19
(18)		アーケード						0
(19)		市町村長の指定する山林						0
(20)		総務省令で定める舟車						0
合 計				3,254	5,533	2,332	903	12,022

防火対象物立入検査実施状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

防火対象物			署所(区域)	消防局	川越北消防署	川越中央消防署	川越西消防署	川島消防署	合計
(1)	イ	劇場等		1					1
	ロ	公会堂等		2	2	3	7	4	18
(2)	イ	キャバレー等							0
	ロ	遊技場等				6	2	1	9
	ハ	性風俗特殊営業店舗等							0
	ニ	カラオケボックス等			1	2	3		6
(3)	イ	料理店等				1			1
	ロ	飲食店		3	21	46	25	1	96
(4)		百貨店等		2	14	72	13	31	132
(5)	イ	旅館等		1	5	5	1		12
	ロ	共同住宅等		37	7	10	2		56
(6)	イ	病院等		1	26	27	18	5	77
	ロ	特別養護老人ホーム等		2	27	40	41	9	119
	ハ	老人デイサービスセンター等		1	34	44	39	10	128
	ニ	幼稚園等		1	2	5	4	1	13
(7)		学校		2	5	13	15		35
(8)		図書館等							0
(9)	イ	特殊浴場							0
	ロ	一般浴場				1			1
(10)		停車場等							0
(11)		神社・寺院等		1			1		2
(12)	イ	工場等		6	43	49	30	40	168
	ロ	スタジオ							0
(13)	イ	駐車場等				1		2	3
	ロ	航空機格納庫							0
(14)		倉庫		6	13	13	9	14	55
(15)		事務所等		9	7	103	26	13	158
(16)	イ	特定複合用途防火対象物		12	91	81	44	11	239
	ロ	非特定複合用途防火対象物			9	24	9		42
(16-2)		地下街							0
(16-3)		準地下街							0
(17)		文化財			1				1
(18)		アーケード							0
(19)		市町村長の指定する山林							0
(20)		総務省令で定める舟車							0
合 計				87	308	546	289	142	1,372

※査察執行状況、消防用設備等完成検査、防火対象物使用前検査含む

防火管理資格取得者数及び再講習状況

消防局が開催している講習

各年度

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
甲種防火管理講習	-	-	-
乙種防火管理講習	2回 65人	2回 53人	-
甲種防火管理再講習	1回 25人	1回 26人	-

消防局の開催要望に基づき、(一財)日本防火・防災協会が開催している講習

各年度

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
甲種防火管理講習	6回	5回	6回
甲種・乙種防火管理併催講習	-	4回	3回
防火・防災管理併催講習	2回	2回	2回

広報活動の状況

防火教室・防火講話

令和6年4月1日～令和7年3月31日

消防局		川越北消防署		川越中央消防署		川越西消防署		川島消防署		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
2回	110人	39回	3,333人	33回	2,636人	12回	837人	9回	801人	95回	7,717人

消防署見学・来署

令和6年4月1日～令和7年3月31日

川越北消防署		川越中央消防署		川越西消防署		川島消防署		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
19回	1,142人	17回	890人	12回	843人	5回	117人	53回	2,992人

火災予防普及啓発映像貸出

各年度

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数	7回	12回	14回
視聴者数	316人	346人	439人

危険物関係処理状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

区 分		許可件数等			完成検査数		
		設 置	変 更	合 計	設 置	変 更	合 計
製 造 所			28	28		28	28
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	1	6	7	1	12	13
	屋外タンク貯蔵所		2	2		4	4
	屋内タンク貯蔵所			0			0
	地下タンク貯蔵所	6	5	11	4	9	13
	簡易タンク貯蔵所			0			0
	移動タンク貯蔵所	1	1	2	1	1	2
	屋外貯蔵所			0			0
	小計	8	42	50	6	54	60
取 扱 所	給油取扱所	1	24	25		23	23
	販売取扱所			0			0
	一般取扱所	3	13	16	3	12	15
	小計	4	37	41	3	35	38
合計		12	79	91	9	89	98

少量危険 物等届出	炉ボイラー 等届出	圧縮アセチレン ガス等届出	仮貯蔵 仮取扱承認	仮使用承認	完成検査前検査	
					水張	水圧
56	59	25	4	72		

数量別危険物製造所等施設数

令和7年4月1日現在

倍 数 区 分		5 倍 以 下	5 倍 を超え 10 倍 以 下	10 倍 を超え 50 倍 以 下	50 倍 を超え 100倍 以 下	100倍 を超え 150倍 以 下	150倍 を超え 200倍 以 下	200倍 を超え 1,000倍 以 下	1,000倍 を超え 5,000倍 以 下	5,000倍 を超え 10,000倍 以 下	合 計
製 造 所			8	8	8	3	2	3			32
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	62	40	26	7	18	2	10	7		172
	屋外タンク貯蔵所	12	12	38	20	5	3	9			99
	屋内タンク貯蔵所	13	5	1							19
	地下タンク貯蔵所	56	14	39	10	3	5	22			149
	簡易タンク貯蔵所	2									2
	移動タンク貯蔵所	27	1	5	9						42
	屋外貯蔵所	5	4	10							19
	小 計	177	84	127	54	29	12	44	7	0	534
取 扱 所	給油取扱所	1	4	31	6	4	2	36			84
	販売取扱所	1		1							2
	一般取扱所	39	33	22	11	1	1	3			110
	小 計	41	37	54	17	5	3	39	0	0	196
合計		218	129	189	79	37	17	86	7	0	762

類別危険物施設状況

令和7年4月1日現在

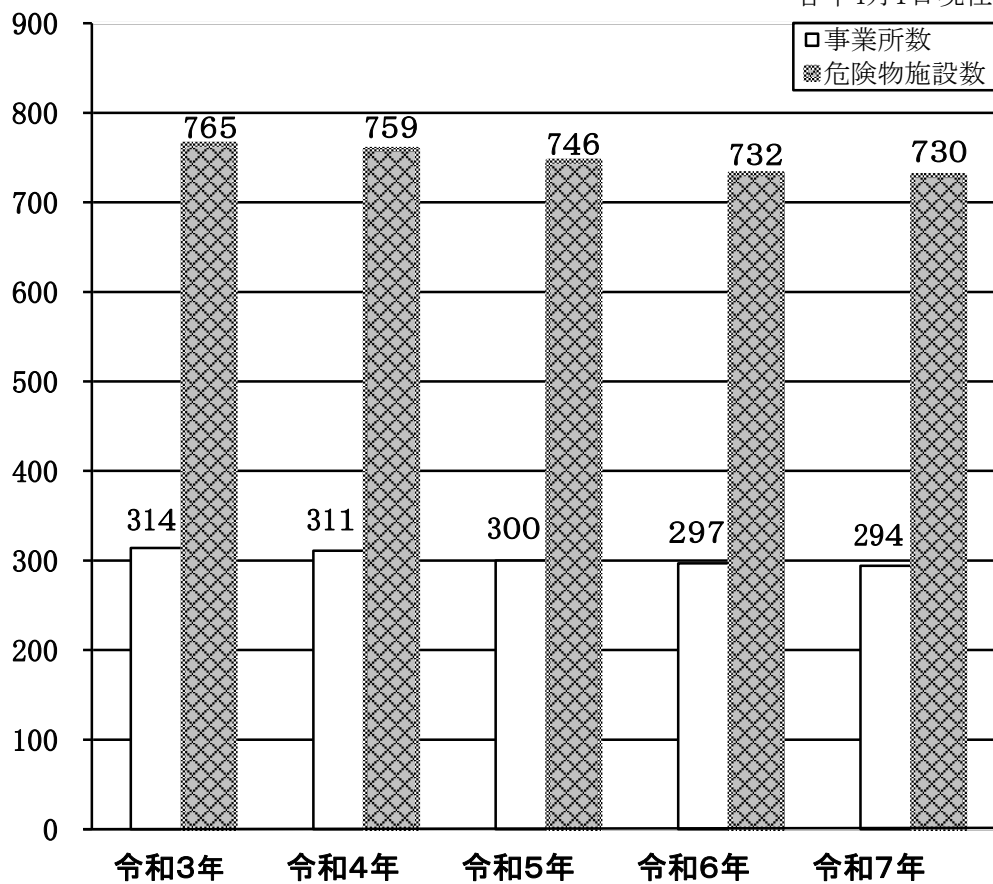
区 分 \ 類 別		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	混在	合計
製造所					16			16	32
貯蔵所	屋内貯蔵所	1			151	7		13	172
	屋外タンク貯蔵所				98	1			99
	屋内タンク貯蔵所				19				19
	地下タンク貯蔵所				149				149
	簡易タンク貯蔵所				2				2
	移動タンク貯蔵所				42				42
	屋外貯蔵所				19				19
	小 計	1	0	0	496	8	0	29	534
取扱所	給油取扱所				84				84
	販売取扱所				2				2
	一般取扱所				102	1		7	110
	小 計	0	0	0	188	1	0	7	196
合計		1	0	0	700	9	0	52	762

備 考 危険物貯蔵・取扱、類別の主な内訳

- 第1類 塩素酸ナトリウム、過塩素酸ナトリウム、臭素酸ナトリウム、無水クロロ酸
- 第2類 硫黄、金属粉
- 第3類 ナトリウム、カリウム
- 第4類 ガソリン、灯油、軽油、重油、エチルアルコール
さく酸エチル、キシレン、トルエン
- 第5類 硝化綿、ニトロ化合物、アゾ化合物、ヒドロキシルアミン
- 第6類 濃硝酸、過酸化水素

危険物事業所・施設数の推移

各年4月1日現在



火薬類施設状況

令和7年4月1日現在

施設別 \ 署別	川越北消防署	川越中央消防署	川越西消防署	川島消防署	合計
火薬庫			7		7
火薬庫外貯蔵庫	1	5		1	7
販売所		1			1

火薬類申請届出等状況

令和7年4月1日現在

申請届出等種別	件数
火薬庫保安検査申請	1
定期自主検査計画届/報告書	3
火薬類安定度試験結果報告書	4
火薬類出納報告書	8
火薬類消費許可申請(煙火)	2
火薬類譲渡許可申請	2
火薬類販売報告書	1
その他の届出/報告書	1

警

防

所属別消防車両一覧表

令和7年4月1日現在

配置場所	車両区分	年式	購入年月日	自動車登録番号	備 考
消防局	指令車	平成28 年	H28・7・25	川越 800 さ 2377	
	指令車	平成28 年	H28・7・25	川越 800 さ 2378	
	指令車	平成28 年	H27・8・21	川越 800 さ 2139	
	指揮車	平成25 年	H25・3・15	川越 830 さ 2406	
	調査車	平成21 年	H22・1・20	川越 800 さ 909	
	連絡車	令和 4 年	R 4・8・8	川越 500 ね 934	
	連絡車	平成22 年	H22・3・26	川越 480 い 2623	
	連絡車	平成18 年	H18・10・24	川越 500 さ 568	
	連絡車	平成24 年	H24・9・26	川越 300 そ 8315	
	連絡車	平成27 年	H27・8・18	川越 300 ち 6918	
川越北消防署	赤バイ	平成17 年	H17・11・21	0 川越 あ 1	
	化学車	平成26 年	H26・1・27	川越 830 さ 2504	水1,500 ^{リットル} 薬液500 ^{リットル}
	消防ポンプ自動車	平成27 年	H28・1・27	川越 830 さ 2706	水 600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	はしご車	平成17 年	H17・2・18	川越 830 せ 119	地上高 46.1m
	警防車	平成29 年	H29・3・10	川越 800 さ 2503	
	救急車	令和 6 年	R 6・2・19	川越 830 せ 2301	
	救急車	平成25 年	H25・2・14	川越 830 さ 2405	
	広報車	平成25 年	H25・8・15	川越 800 さ 1721	
	マイクロバス	平成19 年	H19・10・2	川越 200 さ 25	
	連絡車	平成22 年	H22・3・25	川越 480 い 2622	
南古谷分署	連絡車	令和 6 年	R 6・1・31	川越 480 き 1307	
	水槽付消防ポンプ自動車	平成23 年	H23・1・24	川越 800 は 55	水1,500 ^{リットル}
	消防ポンプ自動車	平成27 年	H27・12・18	川越 830 す 2705	水 600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	警防車	平成14 年	H14・12・2	川越 800 さ 110	
	救急車	令和 2 年	R 2・12・4	川越 830 さ 2003	
	救急車	令和 5 年	R 5・2・1	川越 830 た 2201	
	広報車	平成27 年	H27・8・21	川越 800 さ 2140	
	化学車	平成29 年	H29・1・23	川越 830 さ 2807	水1,500 ^{リットル} 薬液500 ^{リットル}
	消防ポンプ自動車	令和 2 年	R 3・1・28	川越 830 さ 2004	水1,300 ^{リットル}
	消防ポンプ自動車	平成29 年	H29・12・14	川越 830 さ 2903	水 600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
川越中央消防署	はしご車	平成27 年	H27・3・13	川越 830 さ 2601	地上高30.5m
	救助工作車	平成24 年	H24・3・29	川越 830 す 2301	
	警防車	平成27 年	H27・11・13	川越 800 さ 2194	
	救急車	令和 2 年	R 2・11・16	川越 830 た 2002	
	救急車	令和 7 年	R 7・2・13	川越 830 せ 2401	
	広報車	平成28 年	H28・7・21	川越 800 さ 2373	
	連絡車	平成18 年	H18・12・4	川越 480 あ 776	
	連絡車	令和 3 年	R 3・11・24	川越 480 か 6209	
	水槽付消防ポンプ自動車	平成22 年	H22・2・4	川越 800 は 47	水1,500 ^{リットル}
	消防ポンプ自動車	平成24 年	H25・1・15	川越 830 さ 2402	水 600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
高階分署	はしご車	平成20 年	H20・2・29	川越 800 は 33	地上高15.3m 消防ポンプ付
	救急車	令和 2 年	R 2・10・22	川越 830 す 2001	
	広報車	平成18 年	H18・11・7	川越 800 さ 36	
	化学車	平成26 年	H26・2・6	川越 830 さ 2505	水1,500 ^{リットル} 薬液500 ^{リットル}
	消防ポンプ自動車	平成28 年	H29・1・12	川越 830 さ 2806	水 600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
大東分署	水槽車	平成23 年	H23・3・17	川越 800 は 58	水5,000 ^{リットル}
	救急車	令和 2 年	R 2・1・30	川越 830 す 1901	
	広報車	平成22 年	H22・3・26	川越 800 さ 963	
	水槽付消防ポンプ自動車	令和 7 年	R 7・1・27	川越 830 た 2401	水1,500 ^{リットル}
	消防ポンプ自動車	平成30 年	H30・11・16	川越 830 す 1801	水 600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
川越西消防署	消防ポンプ自動車	平成20 年	H20・2・27	川越 800 さ 470	
	はしご車	令和 2 年	R 2・2・25	川越 830 す 1902	地上高35.3m
	救急車	令和 7 年	R 7・2・25	川越 830 す 2402	
	救急車	令和 5 年	R 5・10・12	川越 830 せ 2203	
	広報車	平成22 年	H22・3・26	川越 800 さ 964	
	連絡車	平成22 年	H22・3・25	川越 480 い 2624	
	水槽付消防ポンプ自動車	平成30 年	H30・12・17	川越 830 さ 1803	水1,500 ^{リットル}
名細分署	消防ポンプ自動車	令和 2 年	R 2・12・24	川越 830 さ 2005	水 600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	救助工作車	平成30 年	H30・3・6	川越 830 さ 2904	
	警防車	平成21 年	H21・3・3	川越 800 さ 712	
	救急車	平成30 年	H30・12・11	川越 830 す 1802	
	救急車	令和 5 年	R 5・2・15	川越 830 す 2202	
	支援車	平成19 年	H19・2・28	川越 830 た 119	
	広報車	令和 7 年	R 7・3・13	川越 800 さ 4317	
川島消防署	水槽付消防ポンプ自動車	平成31 年	H31・1・22	熊谷 830 す 1804	水1,500 ^{リットル}
	消防ポンプ自動車	平成28 年	H28・12・14	熊谷 830 そ 2805	水 600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	救助工作車	平成21 年	H21・2・23	熊谷 800 は 623	
	警防車	平成22 年	H22・3・25	熊谷 800 す 2793	
	救急車	平成31 年	H31・2・5	熊谷 830 そ 1805	
	広報車	平成27 年	H27・8・21	熊谷 800 す 5606	
	起震車	平成18 年	H18・1・31	熊谷 800 さ 9737	
川島消防署	連絡車	平成27 年	H27・7・24	熊谷 480 す 8524	

消防水利の状況

令和7年4月1日現在

市 町	地 区 名	消 火 栓 （ 基 ）	防火水そう(基)												プ ー ル ・ 池 等
			20t未満			20t以上 40t未満			40t以上			合計			
			公設	私設	合計	公設	私設	合計	公設	私設	合計	公設	私設	合計	
川 越 市	市街地北部	880	18		18	28	5	33	48	156	204	94	161	255	10
	市街地南部	501	3		3	29	5	34	33	95	128	65	100	165	6
	芳 野 地 区	305	2		2	30		30	38	29	67	70	29	99	2
	古 谷 地 区	261	6	1	7	33	1	34	10	22	32	49	24	73	3
	南古谷地区	393				32	1	33	25	46	71	57	47	104	5
	高 階 地 区	507	7		7	52	7	59	29	36	65	88	43	131	10
	福 原 地 区	441	7		7	53	4	57	43	66	109	103	70	173	9
	大 東 地 区	646	5		5	59	4	63	50	90	140	114	94	208	9
	山 田 地 区	246				18	2	20	14	27	41	32	29	61	1
	名 細 地 区	557				61	7	68	52	57	109	113	64	177	12
	霞ヶ関地区	908	8		8	54	1	55	100	72	172	162	73	235	13
	小 計	5,645	56	1	57	449	37	486	442	696	1,138	947	734	1,681	80
川 島 町	中 山 地 区	149				11	5	16	20	81	101	31	86	117	2
	伊 草 地 区	96				13	3	16	19	16	35	32	19	51	2
	三保谷地区	75				3		3	5	10	15	8	10	18	1
	出 丸 地 区	57				3		3	3	7	10	6	7	13	
	八ッ保地区	74				1	1	2	3	12	15	4	13	17	
	小見野地区	53				9		9	4	3	7	13	3	16	
	小 計	504				40	9	49	54	129	183	94	138	232	5
合 計		6,149	56	1	57	489	46	535	496	825	1,321	1,041	872	1,913	85

警防関係各種届出状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

届出区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届	5	12	20	12	11	12	33	31	60	37	16	10	259
煙火打上げ・仕掛け届			3	6	2	3		1					15
水道断減水届	5	28	12		3		1		2		2	1	54
道路工事届	49	33	62	49	46	52	72	49	35	57	59	46	609
合 計	59	73	97	67	62	67	106	81	97	94	77	57	937

事業所消防訓練派遣状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

事業所別 \ 訓練	消火訓練		通報訓練		避難訓練		総合訓練		合計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
百貨店							3	360	3	360
学 校							11	4,593	11	4,593
工場・作業場	2	180			1	150	34	4,713	37	5,043
その他	21	934	7	206	15	742	226	14,302	269	16,184
合 計	23	1,114	7	206	16	892	274	23,968	320	26,180

※表中の数値は、消防職員を派遣した事業所の消防訓練の回数と、当該訓練に参加した事業所の関係者の延人員です。

中高層建築物の状況

令和7年4月1日現在

階 数 防火対象物		4階		5階		6階		7階		8階		9階		10階		11階		12階		13階		14階		15階		合 計
		川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	計
1	イ 劇場、映画館 演芸場、観覧場																									
	ロ 公会堂、集会場	2 (1)																								2 (1)
2	イ キャバレー、カフェー ナイトクラブ	1 (1)																								1 (1)
	ロ 遊技場、 ダンスホール	3		1 (1)																						4 (1)
	ハ 風俗関連特殊営業 を営む店舗																									
	ニ カラオケボックス、複合 カフェ、個室ビデオ等			1 (1)																						1 (1)
3	イ 待合、料理店																									
	ロ 飲食店	3		1																						4
4	百貨店、マーケット、店舗	6 (3)		3				1																		10 (3)
5	イ 旅館、ホテル 宿泊所	3 (1)		8 (4)		2 (1)		1				1		2 (1)		1										18 (7)
	ロ 寄宿舎、下宿 共同住宅	238 (118)		227 (53)	1	54 (18)		35 (13)		45 (16)		21 (12)		22 (12)		20 (10)		12 (3)		7 (1)		15 (6)		22 (6)		719 (268)
6	イ 病院、診療所 助産所	10 (3)		6 (2)		3		1				1		1												22 (5)
	ロ 特別養護老人ホーム 認 知症グループホーム等	8 (3)		2 (2)		1																				11 (5)
	ハ 児童福祉施設、老人 デイサービスセンター等	1 (1)		1 (1)																						2 (2)
	ニ 幼稚園 特別支援学校																									
7	小、中、高、大学校等	72 (6)		18 (4)		3		3 (2)						1												97 (12)
8	図書館、博物館 美術館	1 (1)																								1 (1)
9	イ 蒸気、熱気浴場等																									
	ロ その他の公衆浴場																									
10	車両の停車場等																									
11	神社、寺院、教会																									
12	イ 工場、作業所	32 (3)		7 (2)	2	1				1																43 (5)
	ロ 映画スタジオ テレビスタジオ																									
13	イ 自動車車庫	4 (1)																								4 (1)
	ロ 格納庫																									
14	倉庫	17 (1)	1	6 (1)	3	1																				28 (2)
15	各項に該当しない 事業所	47 (15)	1	30 (7)	3	15 (4)		8 (3)		5 (1)		1														110 (30)
16	イ 特定用途複合用途防 火対象物	91 (33)	1	63 (23)		35 (14)		21 (8)		15 (4)		10 (3)		2 (1)		3 (1)			1					2		244 (87)
	ロ その他複合用途防 火対象物	43 (29)	2	23 (10)		15 (7)	1	8 (4)		3 (3)		1 (1)		2 (2)		2				4						104 (56)
一般住宅																										
合 計		582 (220)	5	397 (111)	9	130 (44)	1	78 (30)		69 (24)		35 (16)		30 (16)		26 (11)		12 (3)		8 (1)		19 (6)		24 (6)		1,425 (488)

※ ()内数値は、はしご車部署不能数

※ 防火対象物の別覧については、消防法施行令別表第1参照

火災出場の状況

令和6年中

署所 月	消防局		川越北消防署		南古谷分署		川越中央消防署		高階分署		大東分署		川越西消防署		名細分署		川島消防署		合 計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
1月	7	21	5	25	3	17	3	27	1	7	6	30	3	23	4	33	3	21	35	204
2月	4	11	4	28	4	23	4	35	2	13	2	14	1	4	1	10	1	4	23	142
3月	5	13	4	27	2	12	3	25	1	7	3	15	1	7	5	29	1	8	25	143
4月	2	6	2	8	0	0	1	13	1	4	1	7	1	7	2	16			10	61
5月	3	9	1	7	0	0	2	12	1	7	1	3	2	14	2	15			12	67
6月	2	6	2	14	2	9	2	18	2	12	2	8	0	0	1	4	1	4	14	75
7月	5	15	5	22	2	9	4	35	2	9	5	18	2	9	5	36	3	13	33	166
8月	5	15	4	26	1	6	4	37	2	11	3	13	2	11	3	21	2	13	26	153
9月	4	12	3	16	1	7	2	23	1	4	3	18	1	7	2	14			17	101
10月	3	9	1	8	2	15	2	14	2	8	2	7	1	7	2	8			15	76
11月	2	5	2	15	0	0	2	7	1	3	1	7	1	9	2	7	1	7	12	60
12月	4	12	3	23	1	7	4	26	1	4	2	13	2	10	1	4	3	23	21	122
合計	46	134	36	219	18	105	33	272	17	89	31	153	17	108	30	197	15	93	243	1,370

その他出場の状況

令和6年中

署所 種別	消防局		川越北消防署		南古谷分署		川越中央消防署		高階分署		大東分署		川越西消防署		名細分署		川島消防署		合 計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
風水害等			6	22	4	24	3	15			4	13							17	74
演習・訓練	29	98	13	46	10	59	8	39	7	32	12	56	1	4	5	33	8	38	93	405
広報・指導	11	18	80	255	74	271	51	195	74	242	93	308	38	134	5	16	53	209	479	1,648
警防調査	1	2	72	237	62	224	60	219	68	219	80	263	61	218	21	65	49	175	474	1,622
火災調査	8	24	27	104	6	23	15	85	15	56	19	71	20	108	10	59	11	59	131	589
特別警戒	5	54	10	43	7	22	10	42	2	7	10	36	17	70	2	7	8	31	71	312
捜索			7	28	0	0	1	5	0	0					5	41	4	25	17	99
予防査察	324	1,028	65	214	63	217	164	437	75	244	60	191	175	460	50	185	92	276	1,068	3,252
誤報等	31	86	59	281	24	102	51	301	54	187	66	292	29	129	17	104	16	71	347	1,553
その他	22	63	227	867	145	520	194	764	191	688	227	808	185	715	83	289	132	497	1,406	5,211
合計	431	1,373	566	2,097	395	1,462	557	2,102	486	1,675	571	2,038	526	1,838	198	799	373	1,381	4,103	14,765

現有消防機器

令和7年4月1日現在

区 分	器 具	署 所									合 計
		消 防 局	川 越 北 消 防 署	南 古 谷 分 署	川 越 中 央 消 防 署	高 階 分 署	大 東 分 署	川 越 西 消 防 署	名 細 分 署	川 島 消 防 署	
放水器具	ガンタイプノズル		5	5	11	5	6	8	7	5	52
	無反動ノズル		7	5	6	7	8	9	4	4	50
	放水銃		3		3	1	1	1			9
	東消式簡易発泡器		1	1	1		1				4
	ピックアップ式泡ノズル			1				1	1	1	4
	エアフォームノズル		3		3		3				9
救助器具	救命索発射銃				1				1	1	3
	可搬式ウインチ		2		1				1	3	7
	油圧ジャッキ				2				2	1	5
	マット型空気ジャッキ				1				1	1	3
	大型油圧スプレッダー				1				1	1	3
	画像探索機				1						1
	簡易画像探索機				1				1	1	3
	熱画像直視装置	1	2	1	2	1	1	1	2	2	13
	地中音響探知機				1						1
	夜間用暗視装置				2				1	1	4
	二酸化炭素探査装置				1						1
	地震警報器				1						1
破壊器具	電磁波探査装置				2						2
	エンジンカッター		2	1	4	1	1	2	3	2	16
	チェーンソー		2	1	3	1	1	2	2	3	15
	大型油圧切断機				1				1	1	3
	エアカッター				2				2		4
	エアソー				1				1	2	4
	ハンマードリル				2				3	2	7
	削岩機				1				1	1	3
水難救助器具	酸素溶断機				1				1	1	3
	救命ボート		1	1	1				3	1	7
	船外機		1	1	1				3	1	7
	潜水器具								15		15
身体保護器具	人命検索スバリ		5	2	2				1	2	12
	空気呼吸器		17	10	25	15	11	19	16	16	129
	酸素呼吸器				5				5	5	15
	陽圧式化学防護服	5			12				5	5	27
	耐熱防護服		2	2	4		2		2	2	14
	放射線防護服				5				5	5	15
	耐電用防護服		4		6	4		4	2	2	22
測定器	ガス検知器		1	1	2	1	1	1	2	2	11
	放射線測定器		3	2	5	1	1	2	4	4	22
	ポケット線量計		5	5	15	5	5	5	13	10	63
その他	除染シャワー		1		1				1	1	4
	除染材散布器		2		4				2		8
	エアータント		2	2					4		8

指

令

無線局一覽

令和7年4月1日現在

基地局名称	移動局	アナログ種別	デジタル種別	出 力	通信方式
かわごえしよぼう デジタル基地局 1 (12装置)	車両無線機 積載台数57台 デジタル移動局 122局 (車載58局)、(可搬10局) (携帯54局) アナログ移動局 95局 (署活95局)	署活系 共通 その他 ※	1 統制波 2 3	アナログ無線 署活携帯 1W	デジタル基地局 10W デジタル移動局 車載 5W 可搬 5W 携帯 2W
			主運用波		デジタル 2波複信
			1 活動波 2 3		

※ アナログ種別署活系に記載のその他は、緊援波G1からG17を搭載

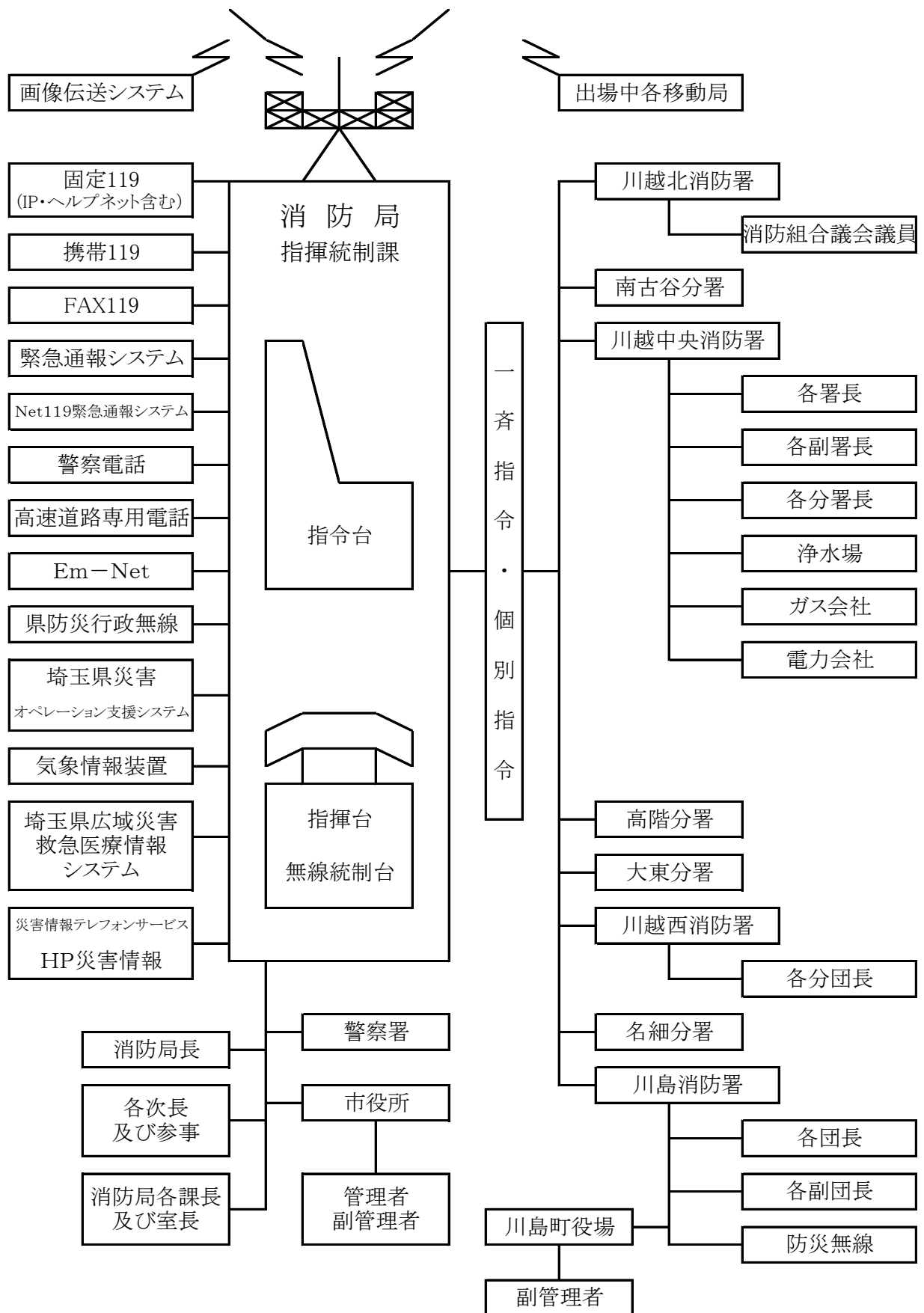
移動局呼出名称

署所 番号	呼出名称	署所 番号	呼出名称	署所 番号	呼出名称	署所 番号	呼出名称
消防局	1 かわごえしれい	1	1 みなみふるやしき(可搬)	1	1 たかしなしき(可搬)	1	1 なぐわしき(可搬)
	2 かわごえしれい	2	2 みなみふるや	1	2 たかしな	2	2 なぐわし
	3 かわごえしれい	3	3 みなみふるや	2	3 たかしな	1	3 なぐわし
	4 かわごえしき(車載)	1	4 みなみふるやけいぼう	1	4 たかしなはしご	1	4 なぐわしきゆうじよ
	5 かわごえしき(車載)	2	5 みなみふるやこうほう	1	5 たかしなこうほう	1	5 なぐわしけいぼう
	6 かわごえしき(可搬)	3	6 みなみふるやきゆうきゆう	1	6 たかしなきゆうきゆう	1	6 なぐわしこうほう
	7 かわごえしき(可搬)	4	7 みなみふるやきゆうきゆう	2	7 たかしな	101	7 なぐわしきゆうきゆう
	8 かわごえちようさ	1	8 みなみふるや	101	8 たかしな	102	8 なぐわしきゆうきゆう
	9 かわごえしき	101	9 みなみふるや	102	9 たかしな	103	9 かわごえしえん
	10 かわごえしき	102	10 みなみふるや	201	10 たかしな	201	10 なぐわし
	11 かわごえちようさ	101	11 みなみふるや	202			11 なぐわし
	12 かわごえしれい	101			1 だいてうしき(可搬)	1	12 なぐわし
	13 かわごえしれい	102	1 かわごえちゆうおうしき(可搬)	1	2 だいてうかかく	1	13 なぐわし
	14 かわごえしれい	103	2 かわごえちゆうおうかかく	1	3 だいてう	1	14 なぐわし
	15 かわごえしれい	104	3 かわごえちゆうおう	1	4 だいてうすいそう	1	15 なぐわし
	16 かわごえしれい	105	4 かわごえちゆうおう	2	5 だいてうこうほう	1	16 なぐわし
川越北消防署	1 かわごえきたしき(可搬)	1	5 かわごえちゆうおうきゆうじよ	1	6 だいてうきゆうきゆう	1	
	2 かわごえきたかかく	1	6 かわごえちゆうおうはしご	1	7 だいてう	101	1 かわじましき(可搬)
	3 かわごえきた	1	7 かわごえちゆうおうけいぼう	1	8 だいてう	102	2 かわじま
	4 かわごえきたはしご	1	8 かわごえちゆうおうこうほう	1	9 だいてう	103	3 かわじま
	5 かわごえきたけいぼう	1	9 かわごえちゆうおうきゆうきゆう	1	10 だいてう	201	4 かわじまきゆうじよ
	6 かわごえきたこうほう	1	10 かわごえちゆうおうきゆうきゆう	2			5 かわじまけいぼう
	7 かわごえきたきゆうきゆう	1	11 かわごえちゆうおう	101	1 かわごえにしき(可搬)	1	6 かわじまこうほう
	8 かわごえきた	101	12 かわごえちゆうおう	102	2 かわごえにし	1	7 かわじまきゆうきゆう
	9 かわごえきた	102	13 かわごえちゆうおう	103	3 かわごえにし	2	8 かわじま
	10 かわごえきた	103	14 かわごえちゆうおう	104	4 かわごえにし	3	9 かわじま
	11 かわごえきた	104	15 かわごえちゆうおう	105	5 かわごえにしはしご	1	10 かわじま
	12 かわごえきた	105	16 かわごえちゆうおう	201	6 かわごえにしこうほう	1	11 かわじま
	13 かわごえきた	201	17 かわごえちゆうおう	202	7 かわごえにしきゆうきゆう	1	12 かわじま
			18 かわごえちゆうおう	301	8 かわごえにしきゆうきゆう	2	13 かわじま
			19 かわごえちゆうおう	302	9 かわごえにし	101	
					10 かわごえにし	102	
					11 かわごえにし	103	
					12 かわごえにし	104	
					13 かわごえにし	105	
					14 かわごえにし	201	

移動局(署活系無線機)呼出名称

署所 番号	呼出名称	署所 番号	呼出名称	署所 番号	呼出名称	署所 番号	呼出名称
消防局	1 かわごえしき	10	1 かわごえちゆうおう	10	6 だいてう	30	1 かわじま
	2 かわごえしき	11	2 かわごえちゆうおう	11	7 だいてう	31	2 かわじま
	3 かわごえしき	12	3 かわごえちゆうおう	12	8 だいてうきゆうきゆう	10	3 かわじま
	4 かわごえちようさ	10	4 かわごえちゆうおう	20	9 だいてうきゆうきゆう	11	4 かわじま
	5 かわごえちようさ	11	5 かわごえちゆうおう	21			5 かわじま
	6 かわごえしれい	10	6 かわごえちゆうおう	30	1 かわごえにし	10	6 かわじまきゆうじよ
	7 かわごえしれい	11	7 かわごえちゆうおう	31	2 かわごえにし	11	7 かわじまきゆうじよ
	8 かわごえしれい	12	8 かわごえちゆうおう	32	3 かわごえにし	12	8 かわじまきゆうきゆう
	9 かわごえしれい	13	9 かわごえちゆうおう	33	4 かわごえにし	20	9 かわじまきゆうきゆう
川越北消防署	1 かわごえきた	10	10 かわごえちゆうおうきゆうじよ	10	5 かわごえにし	21	
	2 かわごえきた	11	11 かわごえちゆうおうきゆうきゆう	11	6 かわごえにし	30	
	3 かわごえきた	12	12 かわごえちゆうおうきゆうきゆう	11	7 かわごえにし	31	
	4 かわごえきた	20	13 かわごえちゆうおうきゆうきゆう	11	8 かわごえにし	32	
	5 かわごえきた	21	14 かわごえちゆうおうきゆうきゆう	20	9 かわごえにし	33	
	6 かわごえきた	30	15 かわごえちゆうおうきゆうきゆう	21	10 かわごえにしきゆうきゆう	10	
	7 かわごえきた	31	1 たかしな	11	11 かわごえにしきゆうきゆう	11	
	8 かわごえきたきゆうきゆう	10	2 たかしな	11	12 かわごえにしきゆうきゆう	20	
	9 かわごえきたきゆうきゆう	11	3 たかしな	12	13 かわごえにしきゆうきゆう	21	
	10 かわごえきたきゆうきゆう	20	4 たかしな	20	1 なぐわし	10	
	11 かわごえきたきゆうきゆう	21	5 たかしな	21	2 なぐわし	11	
南古谷分署	1 みなみふるや	10	6 たかしな	30	3 なぐわし	12	
	2 みなみふるや	11	7 たかしな	31	4 なぐわし	20	
	3 みなみふるや	12	8 たかしなきゆうきゆう	10	5 なぐわし	21	
	4 みなみふるや	20	9 たかしなきゆうきゆう	11	6 なぐわしきゆうじよ	10	
	5 みなみふるや	21			7 なぐわしきゆうじよ	11	
	6 みなみふるやきゆうきゆう	10	1 だいてう	10	8 なぐわしきゆうきゆう	11	
	7 みなみふるやきゆうきゆう	11	2 だいてう	11	9 なぐわしきゆうきゆう	10	
	8 みなみふるやきゆうきゆう	20	3 だいてう	12	10 なぐわしきゆうきゆう	20	
	9 みなみふるやきゆうきゆう	21	4 だいてう	20	11 なぐわしきゆうきゆう	21	

消防通信系統図



通信施設の状況

令和7年4月1日現在

	合計	消防局	南古谷分署	川越中央 消防署	高階分署	大東分署	川越西 消防署	名細分署	川島消防署
		川越北消防署							
指令専用回線	8	1	1	1	1	1	1	1	1
内線専用回線	32	4	4	4	4	4	4	4	4
駆け付け通報装置	8	1	1	1	1	1	1	1	1
119回線 固定電話 (IP・ヘルプネット含む)	8	8							
衛星通信専用回線	2	2							
携帯119受信回線	4	4							
携帯119転送回線	2	2							
緊急通報システム	2	2							
一般回線	18	8	1	2	1	1	2	1	2
携帯電話機	39	10	4	6	3	3	4	5	4
衛星可搬端末機	9	5		1			1		2
FAX専用回線	12	5	1	1	1	1	1	1	1
指令台専用回線	2	2							
メンテナンス回線	1	1							
警察電話	1	1							
高速道路専用電話	1	1							
災害情報テレフォンサービス	3	3							
市役所庁内電話	5	5							
消防無線電話	217	49	20	34	19	19	27	27	22
ヘリテレ画像受信装置	2	2							
Em-Net	1	1							
Net119緊急通報システム	1	1							
IP無線	2	2							

＊ 災害情報テレフォンサービス

川越地区消防組合管内の火災等の災害情報を提供しています。

電話番号:049-227-2277

119番受信回数

令和6年中

種別 月	合計	火災	救急	救助	警戒	その他							
						病院案内	いたずら	誤報	同報	通報訓練	回線試験	転送	その他
合 計	33,526 (18,459)	141 (61)	22,283 (12,494)	136 (60)	455 (180)	453 (357)	10 (3)	1,387 (1,029)	674 (435)	990 (181)	553 (51)	922 (899)	5,522 (2,709)
1 月	2,973 (1,549)	18 (9)	2,130 (1,135)	11 (4)	26 (14)	43 (34)		126 (98)	41 (26)	60 (11)	44 (1)	82 (79)	392 (138)
2 月	2,554 (1,328)	17 (7)	1,740 (937)	10 (6)	31 (10)	32 (20)	1	112 (88)	56 (35)	61 (11)	41	77 (73)	376 (141)
3 月	2,714 (1,379)	19 (7)	1,777 (981)	13 (6)	17 (8)	28 (25)		128 (85)	60 (38)	143 (22)	74 (1)	64 (60)	391 (146)
4 月	2,299 (1,243)	6 (3)	1,562 (870)	11 (6)	21 (6)	25 (20)		106 (85)	41 (25)	40 (9)	69 (12)	70 (70)	348 (137)
5 月	2,460 (1,396)	5 (4)	1,680 (944)	8 (6)	29 (10)	45 (35)	2	110 (84)	43 (27)	67 (12)	45 (10)	68 (67)	358 (197)
6 月	2,674 (1,481)	6 (3)	1,816 (1,024)	12 (5)	33 (9)	42 (36)	1 (1)	111 (82)	40 (25)	100 (20)	26 (2)	84 (83)	403 (191)
7 月	3,318 (1,875)	16 (6)	2,257 (1,302)	15 (4)	56 (16)	34 (31)	2 (1)	102 (74)	107 (75)	57 (7)	45 (1)	95 (95)	532 (263)
8 月	3,055 (1,834)	8 (3)	1,957 (1,162)	18 (8)	92 (43)	38 (29)	1 (1)	131 (93)	72 (47)	26 (4)	32 (1)	92 (89)	588 (354)
9 月	2,678 (1,499)	11 (5)	1,657 (957)	11 (5)	33 (13)	39 (30)	1	129 (96)	47 (28)	109 (16)	51	60 (59)	530 (290)
10 月	2,859 (1,620)	11 (6)	1,779 (966)	8 (3)	32 (13)	32 (26)	1	123 (95)	58 (36)	100 (23)	54 (9)	70 (67)	591 (376)
11 月	2,797 (1,541)	13 (4)	1,817 (1,031)	12 (6)	30 (14)	33 (25)		100 (71)	55 (31)	156 (33)	45 (12)	71 (68)	465 (246)
12 月	3,145 (1,714)	11 (4)	2,111 (1,185)	7 (1)	55 (24)	62 (46)	1	109 (78)	54 (42)	71 (13)	27 (2)	89 (89)	548 (230)

※()は、携帯119番の受信状況を内書きしています。

緊急通報システム受信状況

令和6年中

種 月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災														
救 急		10	8	4	8	7	6	9	3	5	6	3	8	77
警戒等		5	9	9	1		1	2	4	4	1	1		37
相 談		1	6	4	2	2	4	5	4	7	3	2	2	42
その他	誤 報	12	16	28	18	12	16	14	17	10	22	13	21	199
	テスト通報	32	118	9	14	34	12	37	21	100	31	34	36	478
	電池切れ		5	2	3	4	3	7	4	7	7		6	48
	その他		1											1
合 計		60	163	56	46	59	42	74	53	133	70	53	73	882

病院照会に関する記録

令和6年中

	119番	携帯119番	一般加入	その他	合計
小児科	3	42	4		49
内 科	41	144	22		207
歯 科	1	6			7
産婦人科		3			3
外 科	17	67	5		89
耳鼻科	5	10			15
眼 科	6	9	1		16
脳外科	1	6			7
その他	22	70	12		104
小 計	96	357			
合 計	453		44		497

気象状況表

令和6年中

区 分 月	温度(℃)			湿度(%)			
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	平均実効湿度
1月	15.7	-3.7	5.8	97.4	13.0	51.1	52.0
2月	23.2	-1.5	7.0	96.9	19.4	60.2	59.5
3月	27.1	-0.6	8.7	98.0	12.5	55.8	54.6
4月	31.0	6.5	16.9	98.0	18.6	67.1	66.5
5月	32.1	8.5	19.9	98.0	16.6	65.5	65.4
6月	35.7	15.1	23.6	98.0	26.6	72.2	71.5
7月	40.8	22.1	29.0	98.3	33.8	73.6	74.4
8月	38.4	22.8	29.4	98.6	36.9	75.3	73.6
9月	36.5	17.0	26.7	98.0	39.4	77.8	78.1
10月	32.7	9.3	19.9	98.6	35.2	78.8	79.3
11月	24.0	2.1	13.0	98.0	23.3	68.2	68.7
12月	18.3	-2.5	6.7	95.0	16.9	55.2	55.5
	年最高	年最低	年平均	年最高	年最低	年平均	年平均
	40.8	-3.7	17.2	98.6	12.5	66.7	66.6

令和6年中

区 分 月	風速(m/s)		降雨(mm)		
	最大	平均	降雨日	降雨量	日最高
1月	24.0	2.2	3	27.5	23.0
2月	27.1	2.6	11	60.5	30.0
3月	26.8	2.8	10	156.0	38.5
4月	22.1	2.1	10	72.0	35.0
5月	18.2	2.6	13	171.0	41.0
6月	15.2	2.1	12	203.0	59.0
7月	30.0	1.8	15	111.5	26.0
8月	15.0	2.4	12	471.5	113.0
9月	12.5	2.0	10	63.0	29.0
10月	19.3	1.7	11	141.5	31.0
11月	17.0	1.9	7	67.5	36.0
12月	18.4	1.8	0	-	-
	年最大	年平均	合計	合計	日最高
	30.0	2.2	114	1,545.0	113.0

火

災

令和6年中の火災概要

1 火災件数

令和6年中の火災件数は101件で、前年に比較して4件増加している。

また、出火率(人口1万人あたりの出火件数)は約2.7件となっている。

火災種別の構成比は、建物火災が全体の約53.4%(54件)で、最も高い比率を占めている。

次いで、その他の火災(屋外のゴミ屑や枯草等)の約31.6%(32件)、車両火災の約14.8%(15件)となっている。

特に建物火災54件のうち、住宅・共同住宅における火災が68.5%(37件)を占めている。

2 損害額

損害額は2億3284万1千円で、前年と比較し17億9730万5千円の減少となり、このうち建物火災の損害額は2億1806万5千円で、全体の約93.6%を占めている。

なお、建物火災の損害額は、建物火災1件あたり約403万8千円で、1日あたりでは約59万7千円となっている。

3 建物焼損面積

建物焼損床面積は2,408㎡で、前年と比較して2,031㎡の減少となり、建物火災1件あたりの焼損床面積は約44.5㎡で、前年と比較して約52.0㎡の減少となっている。

4 出火原因

出火原因は多い順に、放火が15件(約14.8%)、たばこが10件(約9.9%)、たき火が10件(約9.9%)となっている。

5 死傷者

火災による死者は4人発生し、前年と比較して2人の減少となっている。

負傷者は11人発生し、前年と比較して3人の増加となっている。

火災の概況

令和6年中

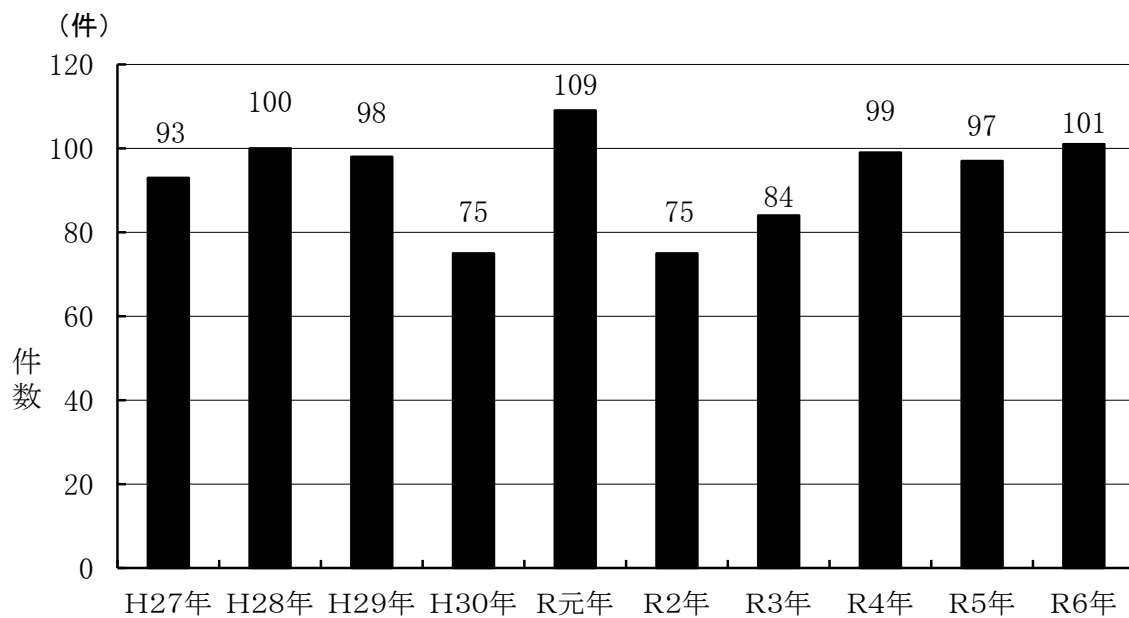
			川越地区	川越市	川島町
火災件数			101 件	86 件	15 件
	建物		54 件	48 件	6 件
	林野		0 件	0 件	0 件
	車両		15 件	14 件	1 件
	船舶		0 件	0 件	0 件
	航空機		0 件	0 件	0 件
	その他		32 件	24 件	8 件
焼損棟数			80 棟	73 棟	7 棟
	全焼		23 棟	22 棟	1 棟
	半焼		5 棟	3 棟	2 棟
	部分焼		19 棟	19 棟	0 棟
	ぼや		33 棟	29 棟	4 棟
建物焼損床面積			2,408 m ²	2,182 m ²	226 m ²
建物焼損表面積			170 m ²	160 m ²	10 m ²
林野焼損面積			0 a	0 a	0 a
死傷者			15 人	10 人	5 人
	死者		4 人	3 人	1 人
	負傷者		11 人	7 人	4 人
り災世帯			51 世帯	47 世帯	4 世帯
	全損		9 世帯	8 世帯	1 世帯
	半損		3 世帯	2 世帯	1 世帯
	小損		39 世帯	37 世帯	2 世帯
り災人員			107 人	96 人	11 人
損害額			232,841 千円	199,159 千円	33,682 千円
	建 物	建築物	175,347 千円	145,385 千円	29,962 千円
		収容物	42,718 千円	40,519 千円	2,199 千円
	林野		0 千円	0 千円	0 千円
	車両		10,379 千円	9,084 千円	1,295 千円
	航空機		0 千円	0 千円	0 千円
	その他		4,397 千円	4,171 千円	226 千円
出火率			2.7 件	2.4 件	7.9 件

※ 出火率は人口1万人当りの火災件数

火災件数の推移（１０年間）

各年

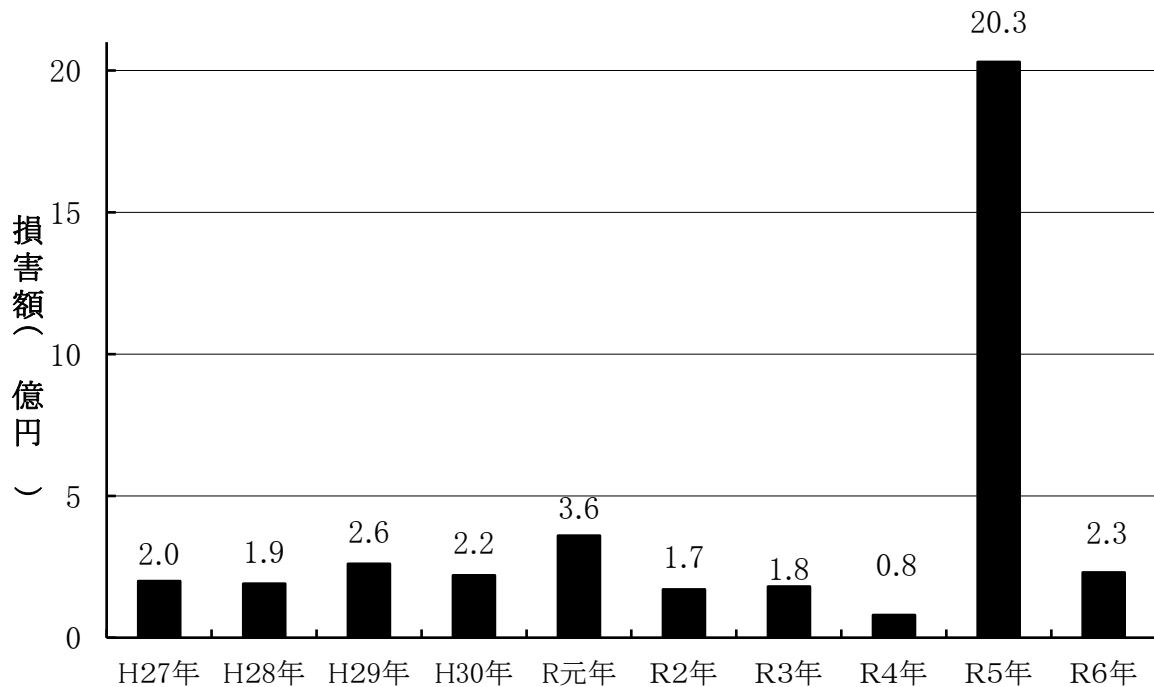
	川越地区							川越市							川島町						
	件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
H27年	93	49		8			36	75	42		8			25	18	7					11
H28年	100	51		14			35	87	44		13			30	13	7		1			5
H29年	98	60		6			32	82	54		4			24	16	6		2			8
H30年	75	38		13			24	65	34		11			20	10	4		2			4
R元年	109	65		10			34	88	59		7			22	21	6		3			12
R2年	75	54		8			13	64	47		6			11	11	7		2			2
R3年	84	50		11			23	74	44		9			21	10	6		2			2
R4年	99	57		12			30	85	51		9			25	14	6		3			5
R5年	97	46		10			41	80	40		8			32	17	6		2			9
R6年	101	54		15			32	86	48		14			24	15	6		1			8



火災損害状況の推移（１０年間）

各年（単位：千円）

	川越地区	川越市	川島町
H27年	200,017	188,405	11,612
H28年	189,396	159,212	30,184
H29年	262,990	224,956	38,034
H30年	215,475	155,279	60,196
R元年	355,364	313,055	42,309
R2年	172,251	161,641	10,610
R3年	183,871	153,451	30,420
R4年	76,696	73,529	3,167
R5年	2,030,146	2,023,261	6,885
R6年	232,841	199,159	33,682

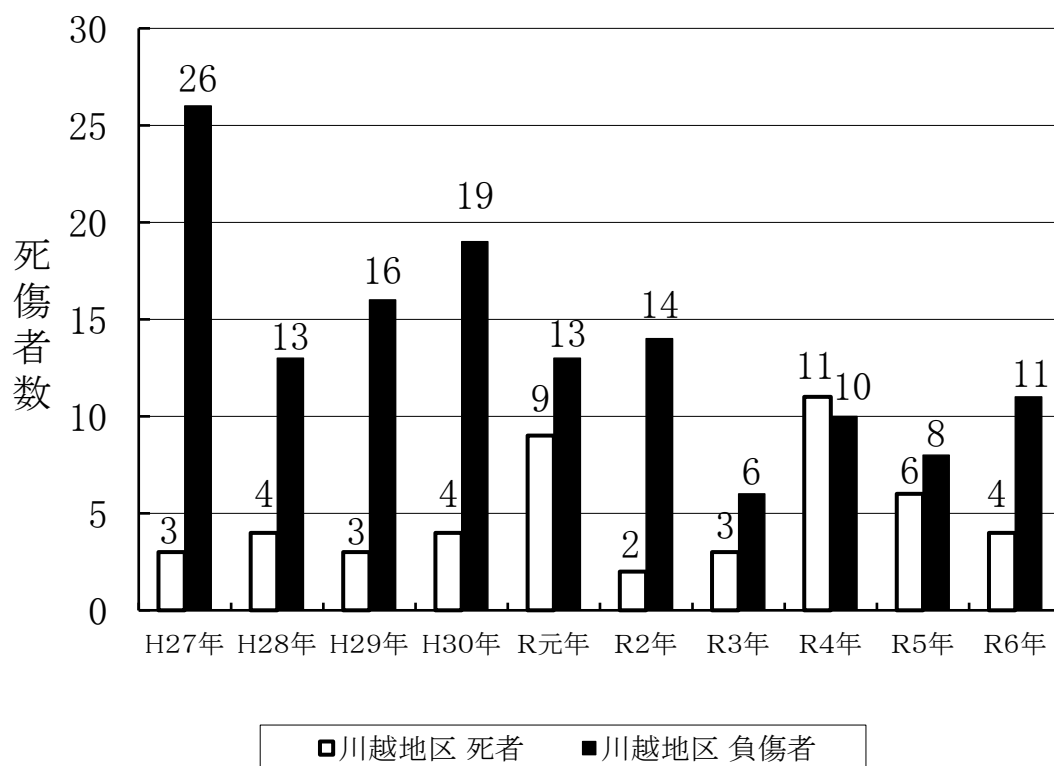


※グラフは単位未満、小数点第2位を四捨五入した数値です。

火災による死傷者の推移（１０年間）

各年(単位:人)

	川越地区		川越市		川島町	
	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者
H27年	3	26	3	24		2
H28年	4	13	4	12		1
H29年	3	16	2	15	1	1
H30年	4	19	3	18	1	1
R元年	9	13	9	11		2
R2年	2	14	2	14		
R3年	3	6	3	6		
R4年	11	10	10	9	1	1
R5年	6	8	6	7		1
R6年	4	11	3	7	1	4



地区別の出火原因

令和6年中(単位:件)

	本庁管内	芳野	古谷	南古谷	高階	福原	大東	山田	名細	霞ヶ関	川島	合計
たばこ	3				3		2		1	1		10
こんろ	1				1						1	3
かまど												0
風呂かまど												0
炉												0
焼却炉												0
ストーブ	1							1			1	3
こたつ							1			1		2
ボイラー												0
煙突・煙道												0
排気管	2		1									3
電気機器	1				1		1				2	5
電気装置							1	1				2
電灯・電話等の配線	1											1
内燃機関												0
配線器具	3									1		4
火あそび												0
マッチ・ライター											2	2
たき火		1	3	2						1	3	10
溶接機・切断機												0
灯火					1							1
衝突の火花												0
取灰												0
火入れ		1	1									2
放火	2				4		5		1		3	15
放火の疑い	1			1							2	4
その他	8	2				2	2	1	4	5	1	25
不明	1		1		1	1				5		9
合計	24	4	6	3	11	3	12	3	6	14	15	101

※その他とは、落雷等の上記項目に該当しないもの。

出火原因別火災件数の推移（１０年間）

各年

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
たばこ	10	10	13	8	17	8	12	16	17	10
こんろ	10	3	9	5	2	8	5	4	7	3
かまど					2				1	
風呂かまど										
炉			1				1	1		
焼却炉			3	1	1	1				
ストーブ	4	1	5	2	5	4	5	1	2	3
こたつ										2
ボイラー										
煙突・煙道									1	
排気管		7	1	3	2	1	1		4	3
電気機器	2	2	3	2	8	6	3	5	4	5
電気装置	2		1	1	2	1	4	3		2
電灯・電話等の配線	3	2	3	3	8	3	6	2	5	1
内燃機関						1				
配線器具	1	2	5	4	3	2	2	3	4	4
火あそび	1		2	2	1	3			3	
マッチ・ライター	1		1	1		1	1	4	1	2
たき火			1		6	1	6	2	17	10
溶接機・切断機		1		1				1		
灯火	1	1		1	1	3	1		2	1
衝突の火花	1		1	1				1	1	
取灰		1		1				2	1	
火入れ	3	4	4	2	6	2		4	2	2
放火	12	22	10	11	10	6	9	27	9	15
放火の疑い	16	16	12	5	5	5	3	8	1	4
その他	17	19	18	15	25	15	24	14	13	25
不明	9	9	5	6	5	4	1	1	2	9
合計	93	100	98	75	109	75	84	99	97	101

※その他とは、落雷等の上記項目に該当しないもの。

出火原因別火災件数

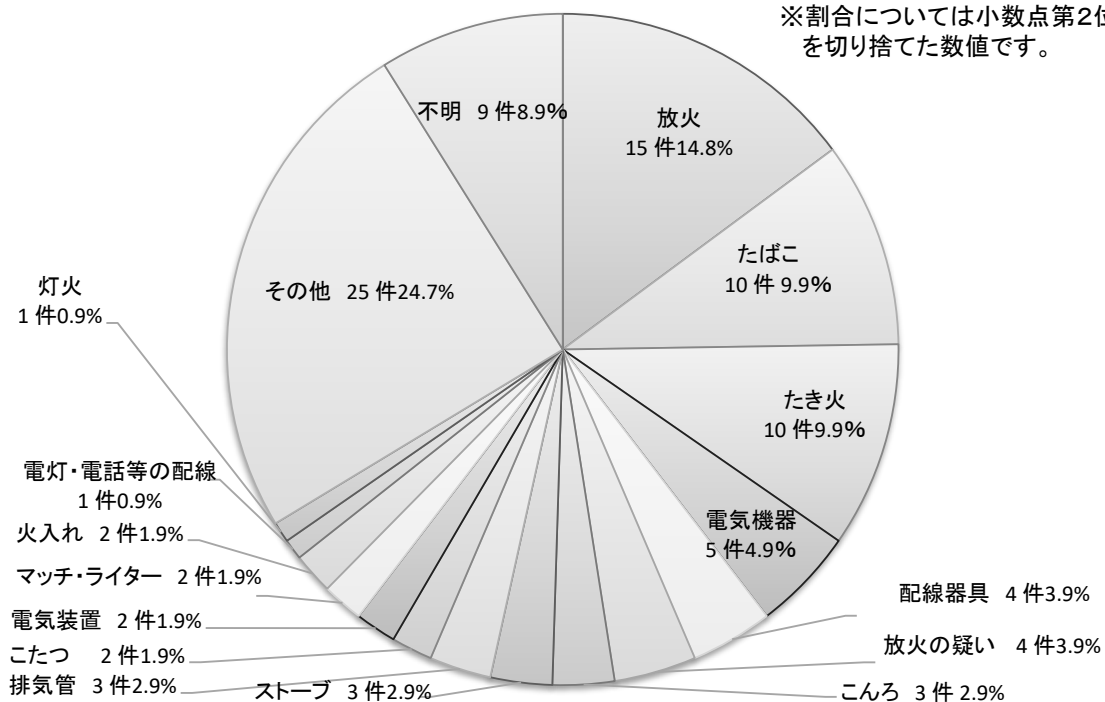
令和6年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
たばこ	2	1		1		1	1		1	1		2	10
こんろ	1				1						1		3
かまど													0
風呂かまど													0
炉													0
焼却炉													0
ストーブ	1	1	1										3
こたつ		1		1									2
ボイラー													0
煙突・煙道													0
排気管						1		1	1	1			4
電気機器					1			1	2			1	5
電気装置				1									1
電灯・電話等の配線							1						1
内燃機関													0
配線器具	1			1		1	1						4
火遊び													0
マッチ・ライター							1					1	2
たき火	3	4	1			1						1	10
溶接機・切断機													0
灯火							1						1
衝突の火花													0
取灰													0
火入れ												2	2
放火	2	1	3		3	1			1	2	1	1	15
放火の疑い	1		1								1	1	4
その他	4	2	3		2		5	4	2	1		2	25
不明	2	2					1	2	1		1		9
合計	17	12	9	4	7	5	11	8	8	5	4	11	101

※その他とは落雷等、上記項目に該当しないもの。

原因別火災発生状況

※割合については小数点第2位を切り捨てた数値です。



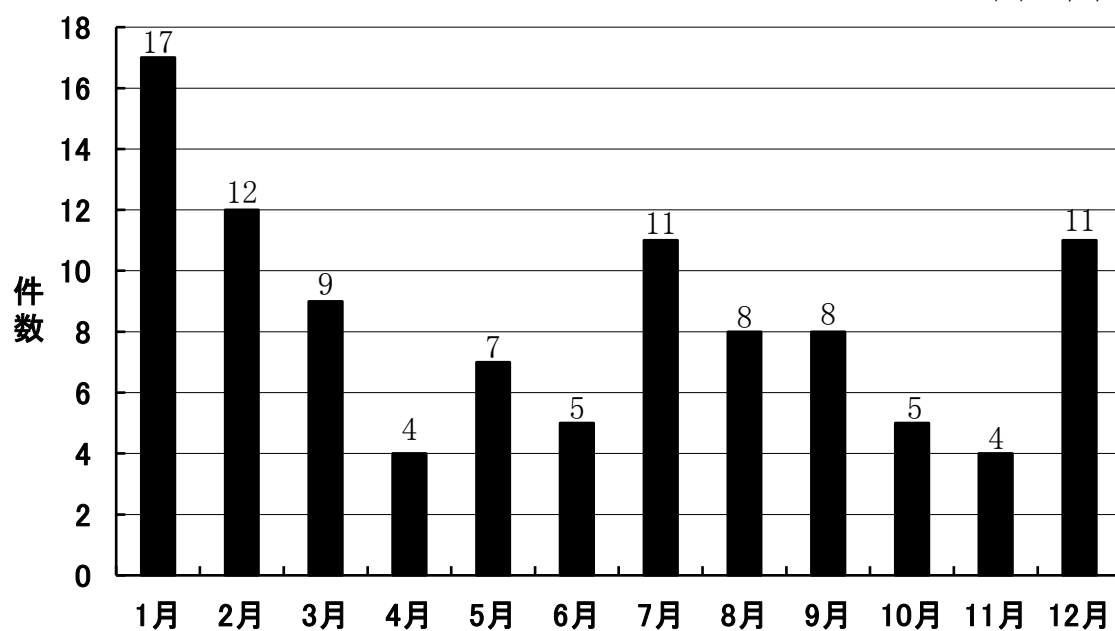
月別火災概況

令和6年中

		単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災件数	建物	件	9	4	4	3	3	4	9	6	5	2	2	3	54
	林野														0
	車両		1	3	1	1	2			1	2	2		2	15
	船舶														0
	航空機														0
	その他		7	5	4		2	1	2	1	1	1	2	6	32
	合計		17	12	9	4	7	5	11	8	8	5	4	11	101
建物	焼損床面積	㎡	35	512	226	130	70		378	618	181	108	93	57	2,408
	焼損表面積		5	12	1	20	36	8	57	25	6				170
死傷者	死者	人	1		1							1		1	4
	負傷者			1	1	1			1	3	1		1	2	11
	合計		1	1	2	1			1	3	1	1	1	3	15
り災世帯		世帯	8	4	3	6	7	1	9	5	3	1	3	1	51
り災人員		人	10	4	5	13	12	3	22	20	8	2	7	1	107

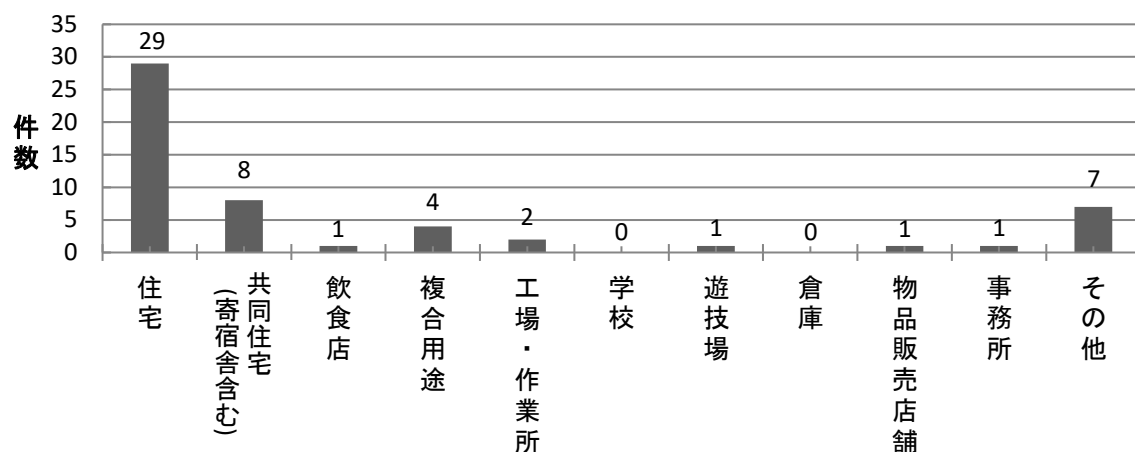
月別火災件数

令和6年中



建物用途別火災件数

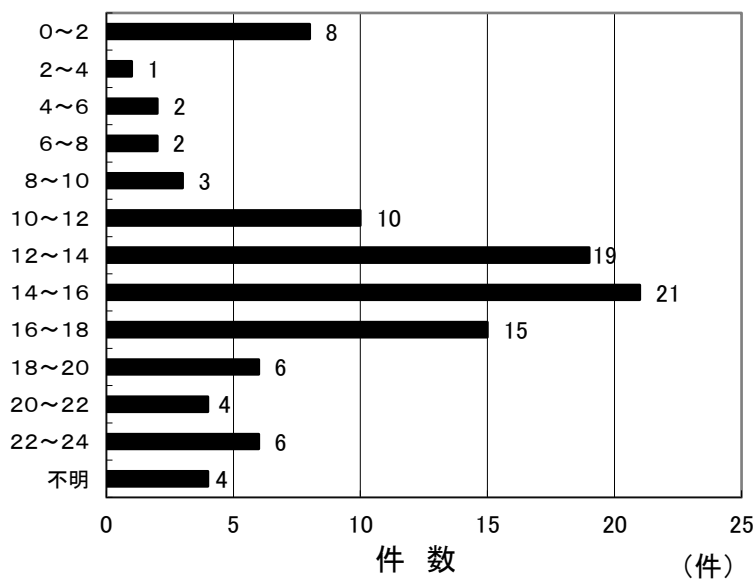
令和6年中



時間別火災発生件数

(時)

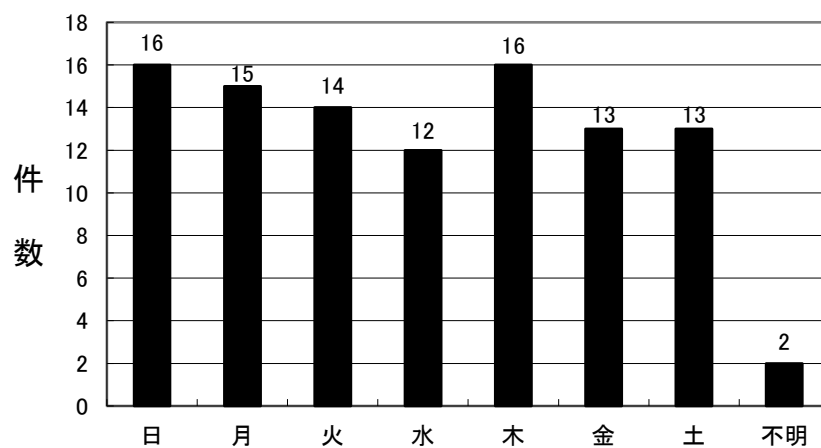
令和6年中



時間	件数
0~2	8
2~4	1
4~6	2
6~8	2
8~10	3
10~12	10
12~14	19
14~16	21
16~18	15
18~20	6
20~22	4
22~24	6
不明	4
合計	101

曜日別火災発生件数

令和6年中



曜日	件数
日	16
月	15
火	14
水	12
木	16
金	13
土	13
不明	2
合計	101

救急・救助

令和6年中の救急・救助の概要

1 救急の概要

令和6年中の救急出場件数は、22,410件(前年21,913件)、搬送人員18,057人(前年17,448人)で、前年に比較し救急出場件数は497件(2.3%)、搬送人員は609人(3.5%)増加しています。

また、一日の平均出場件数は61.2件(前年60.0件)で、約23.5分に1回(前年24.0分に1回)の割合で出場し、住民20.6人に1人(前年21.3人に1人)が搬送されたことになります。

(1) 事故種別の状況

事故種別の構成比は、急病が全体の69.1%(15,482件)で、最も高い比率を占めている。次いで、一般負傷14.0%(3,139件)、その他7.6%(1,709件)となっており、11種類に分類される救急事故の中で、急病と一般負傷が全体の83.1%を占めている。

(2) 署所別の状況

署所別の構成比は、川越中央消防署25.9%(5,799件)、名細分署13.3%(2,975件)、高階分署13.1%(2,942件)、川越北消防署11.5%(2,579件)に次いで大東分署10.9%(2,439件)、次いで川越西消防署、南古谷分署、川島消防署となっており、8署のうち7署で年間出場件数が2,000件を超えている。

(3) 医療機関別搬送人員

医療機関(接骨院等を含む。以下同じ。)へ搬送された傷病者は18,057人で、このうち、73.2%(13,217人)が組合管内11の救急病院へ、2.2%(406人)が組合管内の救急病院以外の医療機関へ、24.6%(4,434人)が組合管外の医療機関へ搬送された。

(4) 時間別救急出場件数

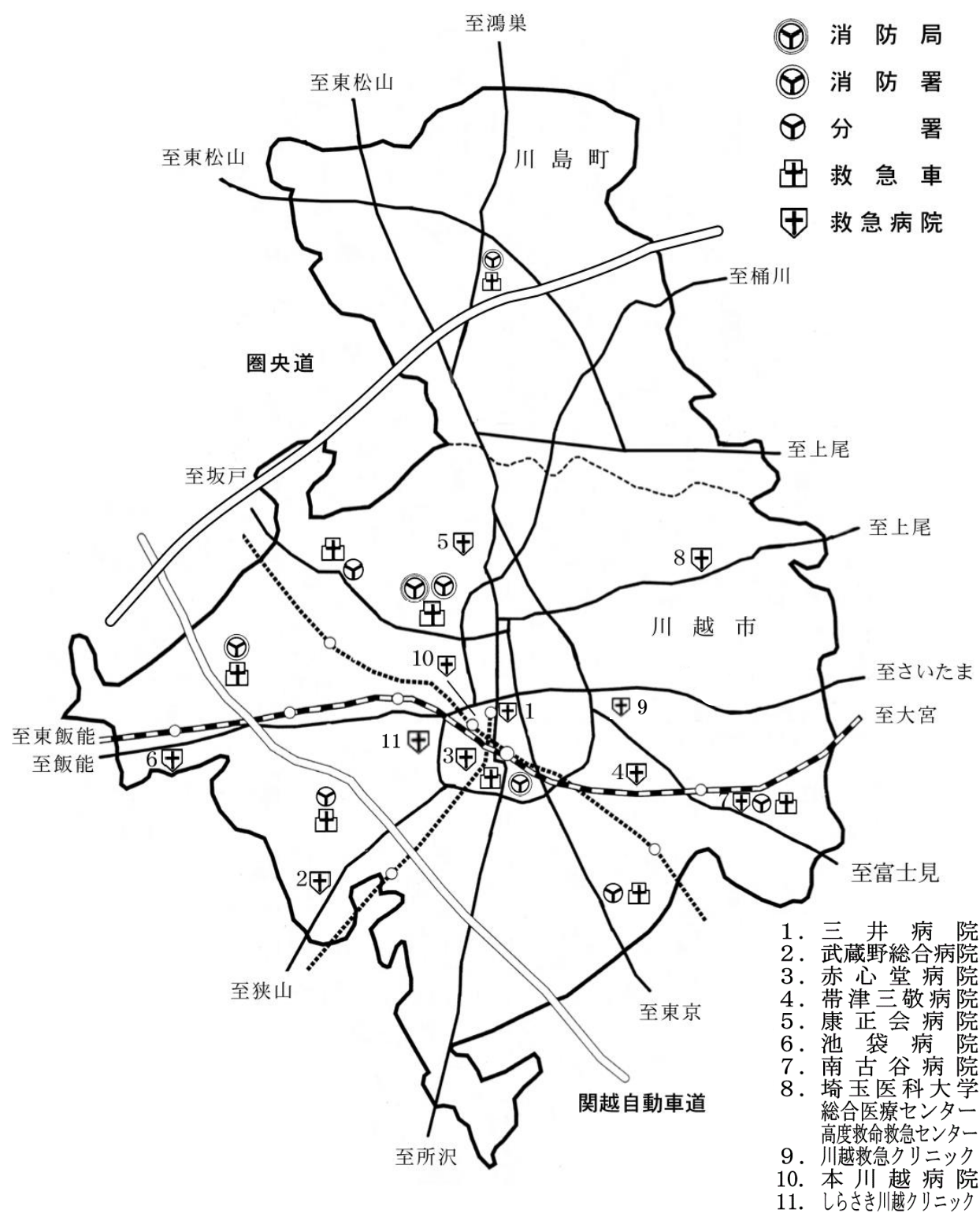
時間別救急出場件数は、10時～12時が2,819件、12時～14時が2,673件、8時～10時が2,542件の順となっている。また、一番少ない時間帯は2時～4時で721件となっている。

2 救助の概要

令和6年中の救助出場件数は257件(前年264件)、救助活動件数は203件(前年199件)で、前年と比較して、出場件数が7件(約2.7%)減少し、救助活動件数が4件(約2.0%)の増加となっている。

救助活動件数の事故種別の構成比は、建物等による事故が約41.9%(85件)、建物火災が約15.3%(31件)、交通事故が約15.8%(32件)、建物以外の火災が約6.4%(13件)、水難事故が約2.0%(4件)、機械による事故が約0.5%(1件)、その他が約18.2%(37件)となっている。

救急車の配置及び救急病院配置図



救 急 活 動

救急活動の推移（１０年間）

各年

出 場 年	搬 送	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
H27	出場件数		72		6	1,604	128	148	2,161	101	165	10,471	1,772	16,628 [2,396]
	搬送人員		23		2	1,557	124	146	1,931	75	93	9,033	1,396	14,380
H28	出場件数		67	1	5	1,665	168	158	2,233	121	136	10,759	1,802	17,115 [2,394]
	搬送人員		11	1	4	1,643	165	154	1,989	90	91	9,365	1,375	14,888
H29	出場件数		62	1	6	1,678	148	141	2,299	109	147	10,976	2,045	17,612 [2,495]
	搬送人員		16		2	1,654	145	140	2,046	77	90	9,598	1,535	15,303
H30	出場件数		47	1	7	1,662	176	158	2,416	110	151	11,445	2,063	18,236 [2,744]
	搬送人員		18	1		1,535	172	145	2,164	71	94	9,972	1,475	15,647
R元	出場件数		72	5	4	1,531	169	133	2,446	94	158	11,411	2,095	18,118 [2,784]
	搬送人員		13	2	1	1,448	166	129	2,199	62	93	9,977	1,383	15,473
R2	出場件数		49		5	1,227	165	78	2,335	84	158	10,203	1,922	16,226 [2,684]
	搬送人員		16			1,111	158	75	2,062	62	104	8,790	1,255	13,633
R3	出場件数		73		2	1,294	173	100	2,339	68	169	10,932	1,893	17,043 [3,025]
	搬送人員		8			1,171	170	96	2,057	47	116	9,215	1,235	14,115
R4	出場件数		98		4	1,299	212	147	2,718	95	245	14,262	1,442	20,522 [4,056]
	搬送人員		9			1,130	200	147	2,363	50	138	11,209	1,316	16,562
R5	出場件数		78		4	1,348	211	166	2,976	100	217	15,234	1,579	21,913 [4,573]
	搬送人員		7			1,205	199	157	2,564	52	127	11,697	1,440	17,448
R6	出場件数		69		3	1,329	211	165	3,139	107	196	15,482	1,709	22,410 [4,449]
	搬送人員		7			1,179	206	157	2,690	63	130	12,017	1,608	18,057

※ []は不搬送件数

月別救急活動の状況

令和6年中

月	出場 搬送	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
1月	出場件数		7			116	6	9	291	10	17	1,517	162	2,135
	搬送人員					98	6	6	256	5	10	1,161	153	1,695
2月	出場件数		5			102	28	5	274	3	9	1,186	156	1,768
	搬送人員		1			87	28	5	239	3	7	888	137	1,395
3月	出場件数		9			116	13	16	253	13	11	1,230	138	1,799
	搬送人員		1			108	13	15	210	8	9	936	134	1,434
4月	出場件数		6			120	9	12	205	13	18	1,083	113	1,579
	搬送人員		1			110	9	12	176	6	12	846	110	1,282
5月	出場件数		3			108	17	13	252	6	24	1,113	152	1,688
	搬送人員					86	17	12	208	5	18	884	148	1,378
6月	出場件数		2			114	12	12	238	8	17	1,286	133	1,822
	搬送人員					100	12	12	202	3	11	1,003	125	1,468
7月	出場件数		6		1	115	48	26	277	8	20	1,602	157	2,260
	搬送人員		1			106	45	25	227	4	13	1,229	146	1,796
8月	出場件数		7		1	102	27	8	216	12	27	1,452	116	1,968
	搬送人員		1			97	26	8	200	8	15	1,131	113	1,599
9月	出場件数		7		1	95	18	23	208	6	17	1,177	131	1,683
	搬送人員					84	18	22	185	6	10	930	118	1,373
10月	出場件数		6			99	5	15	293	10	7	1,189	157	1,781
	搬送人員					81	5	15	256	5	5	900	150	1,417
11月	出場件数		8			126	15	10	286	9	9	1,216	138	1,817
	搬送人員		1			113	15	9	235	6	6	969	128	1,482
12月	出場件数		3			116	13	16	346	9	20	1,431	156	2,110
	搬送人員		1			109	12	16	296	4	14	1,140	146	1,738
合計	出場件数		69	0	3	1,329	211	165	3,139	107	196	15,482	1,709	22,410
	搬送人員		7	0	0	1,179	206	157	2,690	63	130	12,017	1,608	18,057

事故種別傷病程度別搬送人員

令和6年中

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡				3			5		7	200	1	216
重症	3			35	10	6	150	2	20	917	277	1,420
中等症	1			189	62	38	858	8	53	5,001	1,176	7,386
軽症	3			952	134	113	1,677	53	50	5,899	154	9,035
その他												0
合計	7	0	0	1,179	206	157	2,690	63	130	12,017	1,608	18,057

※ 傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき、次のとおり分類する。
(救急業務実施状況調記載要領による)

- 1 死亡 初診時において死亡が確認されたもの
- 2 重症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 3 中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
- 4 軽症 傷病の程度が入院を必要としないもの
- 5 その他 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

事故種別年齢区分別搬送人員

令和6年中

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児							1			7	74	82
乳幼児				24		3	139	1		622	80	869
少年				117	2	84	75	6	10	321	34	649
成人	5			712	164	62	463	43	99	3,536	479	5,563
高齢者	2			326	40	8	2,012	13	21	7,531	941	10,894
合計	7	0	0	1,179	206	157	2,690	63	130	12,017	1,608	18,057

※ 年齢区分は、次のとおり分類する。
(救急業務実施状況調記載要領による)

- 1 新生児 生後28日未満の者
- 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- 3 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- 5 高齢者 満65歳以上の者

署所別救急活動の状況

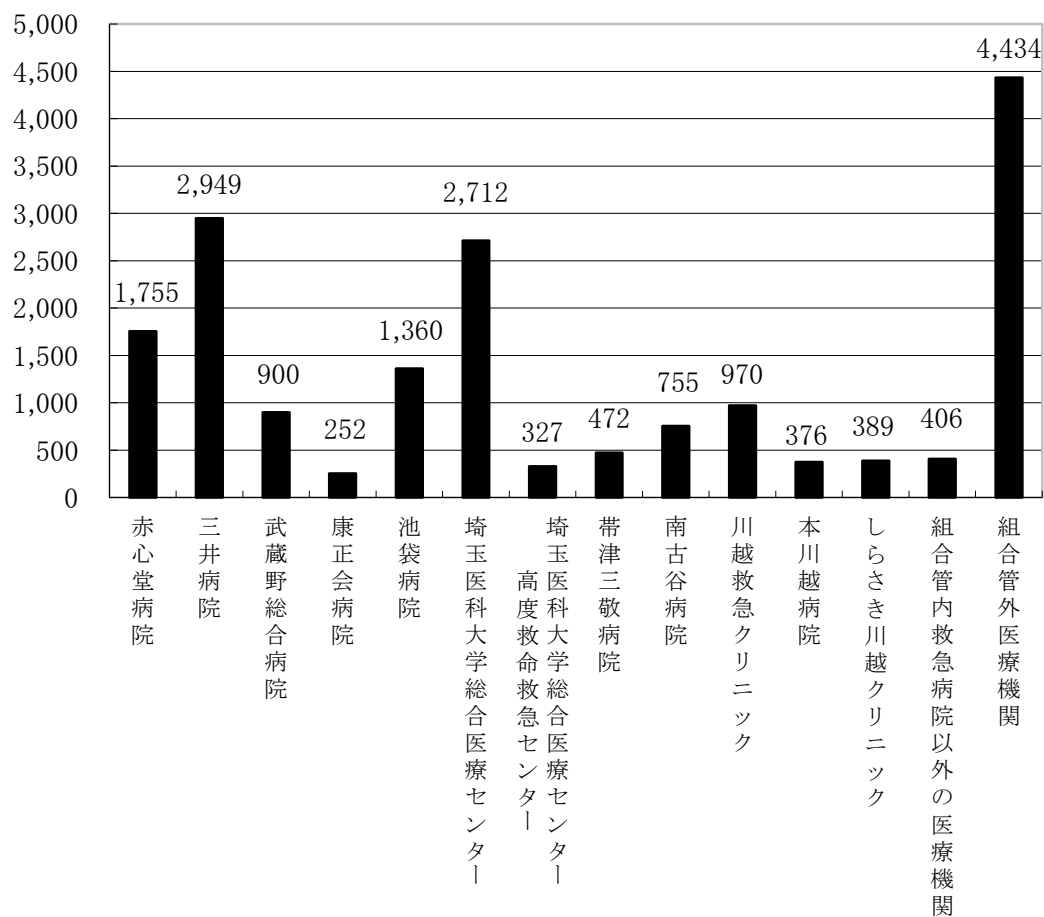
令和6年中

署所	出 場 搬 送	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
川越北消防署	出場件数		12			174	19	16	315	11	18	1,770	244	2,579
	搬送人員		1			156	18	16	281	6	14	1,445	230	2,167
南古谷分署	出場件数		5			135	24	25	262	8	25	1,380	270	2,134
	搬送人員		1			128	24	25	235	6	16	1,175	261	1,871
川越中央消防署	出場件数		13		1	341	41	31	829	39	59	4,012	433	5,799
	搬送人員		1			304	38	30	679	20	34	2,855	402	4,363
高階分署	出場件数		6			159	34	18	425	11	24	2,120	145	2,942
	搬送人員		1			137	34	17	361	8	15	1,680	139	2,392
大東分署	出場件数		11			133	21	21	369	11	23	1,702	148	2,439
	搬送人員		1			109	21	18	311	6	16	1,325	139	1,946
川越西消防署	出場件数		7			124	20	19	318	12	22	1,613	166	2,301
	搬送人員		1			110	20	19	272	7	15	1,213	160	1,817
名細分署	出場件数		8		2	160	27	25	435	10	19	2,079	210	2,975
	搬送人員					138	26	22	384	6	16	1,651	198	2,441
川島消防署	出場件数		7			103	25	10	186	5	6	806	93	1,241
	搬送人員		1			97	25	10	167	4	4	673	79	1,060
合計	出場件数		69	0	3	1,329	211	165	3,139	107	196	15,482	1,709	22,410
	搬送人員		7	0	0	1,179	206	157	2,690	63	130	12,017	1,608	18,057

医療機関別搬送人員

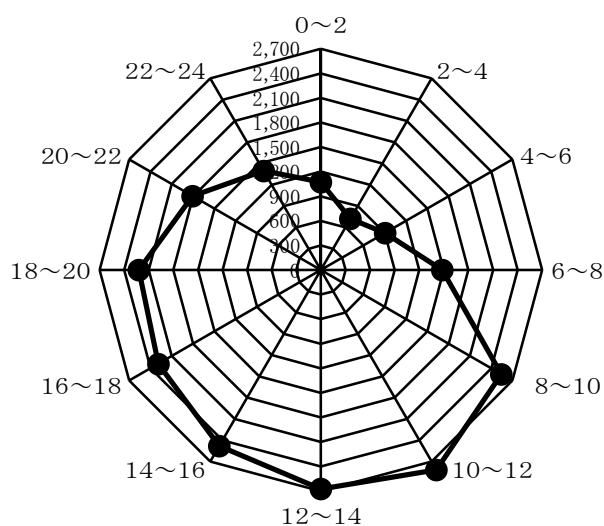
(単位:人)

令和6年中



時間別救急出場件数

令和6年中



時間	救急件数
0～2	1,071
2～4	721
4～6	904
6～8	1,480
8～10	2,542
10～12	2,819
12～14	2,673
14～16	2,482
16～18	2,292
18～20	2,221
20～22	1,807
22～24	1,398

救命講習実施状況

各年度中

区分 年度	普通救命講習		上級救命講習		合計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員
令和2年度	25	441			25	441
令和3年度	83	1,233			83	1,233
令和4年度	131	1,723	3	35	134	1,758
令和5年度	183	2,697	7	98	190	2,795
令和6年度	206	3,442	7	72	213	3,514

救急講習指導状況

各年度中

区分 年度	救急講習		救命入門コース		合計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員
令和2年度	11	341	4	162	15	503
令和3年度	60	1,266	8	228	68	1,494
令和4年度	113	4,584	23	448	136	5,032
令和5年度	135	6,394	29	585	164	6,979
令和6年度	180	9,961	22	476	202	10,437

救 助 活 動

事故種別出場件数、活動件数及び救助人員

令和6年中

事故種別 区 分	火 災		交通 事故	水難 事故	自 然 災害	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス 及び 酸欠 事故	破裂 事故	その他	合計
	建物	建物 以外									
出場件数	31	13	37	4	5	1	90	2		74	257
活動件数	31	13	32	4	5	1	85	2		30	203
救助人員	5	1	29	4	5	1	71	2		19	137

事故種別発生場所別救助人員

令和6年中

事故種別 発生区分		火 災		交通 事故	水難 事故	自 然 災害	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス 及び 酸欠 事故	破裂 事故	その他	合計
		建物	建物 以外									
屋 内	住居	5					1	68	1		8	83
	その他の屋内							3			3	6
屋 外	道 路	高速自動車国道		2								2
		その他の道路		21		5						26
	水 面	内水面			4							4
		外水面										0
	山岳											0
	その他の屋外			1	6				1		8	16
地下												0
その他												0
合計		5	1	29	4	5	1	71	2	0	19	137

消 防 団

消防団分団区域図



川越市消防団分団の名称及び受持区域

名称	区域
第一分団	石原町一丁目、石原町二丁目、大手町、御成町、喜多町、久保町、郭町一丁目、郭町二丁目、小仙波町一丁目、小仙波町二丁目、小仙波町三丁目、小仙波町四丁目、小仙波町五丁目、幸町、三久保町、志多町、城下町、神明町、末広町一丁目、末広町二丁目、末広町三丁目、間屋町、西小仙波町一丁目、西小仙波町二丁目、氷川町、松江町一丁目、松江町二丁目、宮下町一丁目、宮下町二丁目、宮元町、元町一丁目、元町二丁目、大字川越、大字小仙波、大字寺井、大字東明寺、大字松郷
第二分団	岸町一丁目、三光町、新富町一丁目、新富町二丁目、菅原町、仙波町一丁目、仙波町二丁目、仙波町三丁目、仙波町四丁目、月吉町、通町、中原町一丁目、中原町二丁目、仲町、富士見町、南通町、連雀町、六軒町一丁目、六軒町二丁目、脇田町、大字大仙波
第三分団	旭町一丁目、旭町二丁目、旭町三丁目、新宿町一丁目、新宿町二丁目、新宿町三丁目、新宿町四丁目、新宿町五丁目、新宿町六丁目、今成一丁目、今成二丁目、今成三丁目、今成四丁目、大塚二丁目の一部(二二番一から二二番一六まで、二二番三四から二二番三七まで、二四番一から二四番一四まで、二四番一八から二四番二〇まで、二五番一から二五番八まで、二五番九から二五番二四まで、二七番一八、二七番二〇から二七番二五まで、二七番二七、二七番二九、一〇〇番一〇一、一〇〇番一〇二、一〇〇番一〇四、一〇〇番一二五、一〇〇番一七一、一〇〇番一七二、一〇〇番二〇七から一〇〇番二一〇まで、一〇四番一八及び一〇四番一九)、上野田町、岸町二丁目、岸町三丁目、広栄町、田町、中台一丁目的一部分(一番から五番まで、九番五、一〇〇番一から一〇〇番一四まで、一〇〇番一六、一〇〇番二〇、一〇〇番三〇及び一〇〇番三七から一〇〇番三九まで)、中台元町二丁目的一部分(一番、二番一から二番一〇まで、二番一二から二番一五まで、二番一七、二番二二から二番二四まで、三番一、三番二、三番五、三番六、三番二一、三番二二、一〇〇番一から一〇〇番五まで及び一〇〇番九)、野田町一丁目、野田町二丁目、東田町、むさし野の一部(一番一から一番八まで、三番一七から三番二四まで、四番一から四番三まで、四番一七から四番二〇まで、一〇〇番八及び一〇〇番一九から一〇〇番二三まで)、脇田新町、脇田本町、大字小ヶ谷、大字大仙波新田、大字岸、大字小室、大字野田
芳野分団	川越市芳野市民センターの所管区域
古谷分団	川越市古谷市民センターの所管区域
南古谷分団	川越市南古谷市民センターの所管区域
高階分団	川越市高階市民センターの所管区域
福原分団	川越市福原市民センターの所管区域
大東分団	川越市大東市民センターの所管区域
山田分団	川越市山田市民センターの所管区域
名細分団	川越市名細市民センターの所管区域及び川鶴市民センター所管区域の一部(吉田新町一丁目、吉田新町二丁目及び吉田新町三丁目)
霞ヶ関分団	川越市霞ヶ関市民センターの所管区域、川鶴市民センターの所管区域(吉田新町一丁目、吉田新町二丁目及び吉田新町三丁目を除く。)及び霞ヶ関北市民センターの所管区域

川島町消防団分団の名称及び受持区域

名称	区域
第一分団	大字中山、大字南園部、大字吹塚、大字北園部、大字正直、大字戸守、大字長楽、八幡一丁目、八幡二丁目、八幡三丁目、八幡四丁目、八幡五丁目、八幡六丁目、かわじま一丁目、かわじま二丁目
第二分団	大字上伊草、大字伊草、大字下伊草、大字角泉、大字安塚、大字飯島
第三分団	大字平沼、大字白井沼、大字紫竹、大字宮前、大字上貉、大字下貉、大字釘無、大字新堀、大字吉原、大字表
第四分団	大字出丸下郷、大字西谷、大字曲師、大字出丸本、大字上大屋敷、大字下大屋敷、大字出丸中郷
第五分団	大字上八ツ林、大字下八ツ林、大字畑中、大字三保谷宿、大字牛ヶ谷戸、大字山ヶ谷戸、大字東野、大字東大塚
第六分団	大字虫塚、大字梅ノ木、大字上小見野、大字小見野、大字下小見野、大字加胡、大字松永、大字谷中、大字鳥羽井、大字一本木、大字芝沼、大字鳥羽井新田、大字東部

消防団員の実員数

(1) 階級別

令和7年4月1日現在

階級 区分		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
川越市	定数	1	4	13	13	13	26	260	330
	実員	1	4	13	13	13	26	188	258
川島町	定数	1	2	6	6	7	13	94	129
	実員	1	2	6	6	7	13	81	116

(2) 川越市消防団本部分団別実員数

令和7年4月1日現在

階級 所属		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
団本部		1	4	1	1	1	2	16	26
第一分団				1	1	1	2	13	18
第二分団				1	1	1	2	19	24
第三分団				1	1	1	2	19	24
芳野分団				1	1	1	2	18	23
古谷分団				1	1	1	2	17	22
南古谷分団				1	1	1	2	11	16
高階分団				1	1	1	2	12	17
福原分団				1	1	1	2	11	16
大東分団				1	1	1	2	16	21
山田分団				1	1	1	2	15	20
名細分団				1	1	1	2	11	16
霞ヶ関分団				1	1	1	2	10	15
合計		1	4	13	13	13	26	188	258

(3) 川島町消防団本部分団別実員数

令和7年4月1日現在

階級 所属		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
団本部		1	2			1	1	7	12
第一分団				1	1	1	2	11	16
第二分団				1	1	1	2	14	19
第三分団				1	1	1	2	13	18
第四分団				1	1	1	2	13	18
第五分団				1	1	1	2	12	17
第六分団				1	1	1	2	11	16
合計		1	2	6	6	7	13	81	116

分団別人口世帯の状況

(1) 川越市消防団

令和7年4月1日現在

人口等 所属	定員	人口	世帯数	団員1人当り	
				人口	世帯数
団本部	30				
第一分団	25	27,688	13,263	1,108	531
第二分団	25	31,933	17,602	1,277	704
第三分団	25	46,752	23,720	1,870	949
芳野分団	25	5,299	2,273	212	91
古谷分団	25	10,010	4,557	400	182
南古谷分団	25	25,127	11,168	1,005	447
高階分団	25	53,754	26,917	2,150	1,077
福原分団	25	20,827	9,309	833	372
大東分団	25	35,011	16,208	1,400	648
山田分団	25	11,808	5,168	472	207
名細分団	25	32,426	15,474	1,297	619
霞ヶ関分団	25	52,038	24,635	2,082	985
合計	330	352,673	170,294	1,069	516

(2) 川島町消防団

令和7年4月1日現在

人口等 所属	定員	人口	世帯数	団員1人当り	
				人口	世帯数
団本部	15				
第一分団	19	6,319	2,879	333	152
第二分団	19	5,798	2,697	305	142
第三分団	19	1,784	767	94	40
第四分団	19	1,327	542	70	29
第五分団	19	1,824	804	96	42
第六分団	19	1,561	642	82	34
合計	129	18,613	8,331	144	65

消防団員の勤続年数

(1) 川越市消防団

令和7年4月1日現在

階級 年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満						3	60	63
5年以上10年未満			1	3	4	4	38	50
10年以上15年未満			3	4	3	7	28	45
15年以上20年未満		1	3	2	3	8	31	48
20年以上25年未満		1	5	1	2	3	12	24
25年以上30年未満		1	1	3	1	1	14	21
30年以上	1	1					5	7
合計	1	4	13	13	13	26	188	258

(単位:人)

(2) 川島町消防団

令和7年4月1日現在

階級 年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満							20	20
5年以上10年未満						1	27	28
10年以上15年未満						4	12	16
15年以上20年未満			1	2	5	3	10	21
20年以上25年未満			2	3		3	4	12
25年以上30年未満		2	2	1	2	2	8	17
30年以上	1		1					2
合計	1	2	6	6	7	13	81	116

(単位:人)

消防団員の年齢

(1) 川越市消防団

令和7年4月1日現在

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
18歳以上～20歳未満							5	5
20歳以上～25歳未満						1	12	13
25歳以上～30歳未満				1		1	7	9
30歳以上～35歳未満						3	16	19
35歳以上～40歳未満			1	1	4	3	24	33
40歳以上～45歳未満			4	4		7	35	50
45歳以上～50歳未満		1	3	4	5	5	37	55
50歳以上～55歳未満		2	3	2	3	4	31	45
55歳以上～60歳未満	1	1	1	1	1		5	10
60歳以上～65歳未満			1			2	11	14
65歳以上							5	5
合計	1	4	13	13	13	26	188	258

(単位:人)

(2) 川島町消防団

令和7年4月1日現在

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
18歳以上～20歳未満								0
20歳以上～25歳未満							6	6
25歳以上～30歳未満							8	8
30歳以上～35歳未満							13	13
35歳以上～40歳未満					1	1	14	16
40歳以上～45歳未満			1	2	1	1	14	19
45歳以上～50歳未満			1	2	2	6	10	21
50歳以上～55歳未満		2	3	1	2	5	12	25
55歳以上～60歳未満	1		1	1			3	6
60歳以上～65歳未満					1		1	2
65歳以上								0
合計	1	2	6	6	7	13	81	116

(単位:人)

消防団員の報酬等

(1) 年額報酬

令和7年4月1日現在

階級 内訳	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
支給額	206,000	174,000	151,000	123,000	107,000	89,000	69,000

※機関係員には、年額11,000円の報酬を加給する。

(単位:円)

(2) 出勤報酬

令和7年4月1日現在

区分	金額	支給単位
災害の場合	4,000	1回につき
警戒、訓練等の場合	2,000	
行事及び会議の場合	1,000	

(単位:円)

※災害の場合の1回の従事時間が4時間を超える場合はその超過時間4時間までごとに4,000円を加給する。

※災害の場合4時間以内に2回以上従事した場合は、1回とみなす。

(3) 費用弁償

令和7年4月1日現在

住居等から団本部または 分団車庫までの片道の距離	金額	支給単位
2キロメートル以上4キロメートル未満	130	1回につき
4キロメートル以上6キロメートル未満	160	
6キロメートル以上8キロメートル未満	210	
8キロメートル以上10キロメートル未満	270	
10キロメートル以上	320	

(単位:円)

(4) 退職報償金

令和7年4月1日現在

階級 勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
5年以上 10年未満	239,000	229,000	219,000	214,000	204,000		200,000
10年以上 15年未満	344,000	329,000	318,000	303,000	283,000		264,000
15年以上 20年未満	459,000	429,000	413,000	388,000	358,000		334,000
20年以上 25年未満	594,000	534,000	513,000	478,000	438,000		409,000
25年以上 30年未満	779,000	709,000	659,000	624,000	564,000		519,000
30年以上 35年未満	979,000	909,000	849,000	809,000	734,000		689,000
35年以上	1,079,000	1,009,000	949,000	909,000	834,000		789,000

(単位:円)

分団別火災出場の状況

(1) 川越市消防団

令和6年中

月 分団	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第一分団	1	1	1	1		1	3		1	1			10
第二分団	1	1	1	1		1	3						8
第三分団	1	1	1	1		1	3	1				1	10
芳野分団		1	1			1		1	1			1	6
古谷分団		1	1			1		1	1	1		1	7
南古谷分団		1						1					2
高階分団	1				1	1	1			1			5
福原分団	1	1			1		1	1		1		1	7
大東分団	3			1			1	2	1			2	10
山田分団	1	1	2		1	1			1				7
名細分団	3	1	1	1	2		1	1	1		1		12
霞ヶ関分団	3	1		1	1		1	2	1	1	1	1	13
合計	15	10	8	6	6	7	14	10	7	5	2	7	97

出場延人員 438人

(単位:回)

(2) 川島町消防団

令和6年中

月 分団	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第一分団			2				1	2	1		1	1	8
第二分団			1					1	1		1	2	6
第三分団	2		1					1	1	1	1	1	8
第四分団	2		1					1	1		1	1	7
第五分団			1					1				1	3
第六分団			1				1	1				1	4
合計	4	0	7	0	0	0	2	7	4	1	4	7	36

出場延人員 177人

(単位:回)

消防団施設の概要

(1) 川越市消防団

令和7年4月1日現在

分団名	所在地	構造	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築年月日
第一分団	小仙波町1-2-15	鉄筋コンクリート造2階建	174.56	91.80	H 7. 3.31
第二分団	三光町2-8	鉄筋コンクリート造2階建	170.00	109.78	H11. 3.15
第三分団	野田町1-3-8	鉄骨造2階建	319.17	104.52	H 3. 3.30
芳野分団	大字鴨田9-1	鉄骨造平屋建	750.00	104.00	H17.3.25
古谷分団	大字古谷上3831-1	鉄筋コンクリート造 一部木造2階建	187.70	99.40	H 7. 3.31
南古谷分団	大字今泉307-2	木造平屋建	252.79	103.10	H19. 3. 1
高階分団	大字藤間346-1	鉄骨造2階建	172.29	112.00	H16. 2.20
福原分団	大字今福1785-5	鉄筋コンクリート造2階建	232.38	99.22	H25. 3.14
大東分団	南大塚1-14-20	鉄筋コンクリート造2階建	352.96	99.22	R 6. 2.27
山田分団	大字山田167	鉄骨造2階建	245.57	112.00	H15. 3.14
名細分団	大字小堤644-3	鉄骨造平屋建	482.00	100.00	H20. 3.26
霞ヶ関分団	大字笠幡2365-1	鉄骨造平屋建	721.83	100.00	H18. 3.28

(2) 川島町消防団

令和7年4月1日現在

分団名	所在地	構造	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築年月日
第一分団	大字吹塚737-1	鉄骨造平屋建	332.57	60.30	H 7. 2.27
第二分団	大字伊草184	鉄骨造平屋建	172.97	52.03	H 4. 1.31
第三分団	大字白井沼880	鉄骨造平屋建	306.00	89.43	H19. 3.15
第四分団	大字上大屋敷144-1	鉄骨造2階建	140.95	85.66	H13. 3.28
第五分団	大字畑中344-1	鉄骨造2階建	146.89	88.90	H15. 3.31
第六分団	大字下小見野277-1	鉄骨造平屋建	299.86	89.43	H17. 2. 3

消防自動車性能

(1)川越市消防団

令和7年4月1日現在

所属	車名	年式	総排気量 (cc)	自動車登録番号	ポンプの級別 (級)	購入年月日
団本部	トヨタ	令和元年	1,980	川越 830 て 119	—	R1.9.30
	スズキ	平成26年	658	川越 800 あ 303	B-2	H26.12.25
第一分団	いすゞ	平成24年	2,990	川越 800 さ 1318	A-2	H24.2.3
第二分団	日野	平成24年	4,009	川越 800 さ 1508	A-2	H24.12.17
第三分団	日野	平成26年	4,009	川越 800 さ 1946	A-2	H26.12.8
芳野分団	日野	平成23年	4,009	川越 800 さ 1101	A-2	H23.1.28
古谷分団	日野	平成25年	4,009	川越 800 さ 1768	A-2	H25.12.9
南古谷分団	三菱	平成20年	4,890	川越 800 さ 448	A-2	H20.1.31
高階分団	いすゞ	平成21年	2,990	川越 800 さ 681	A-2	H21.1.30
福原分団	日野	平成28年	4,009	川越 800 さ 2448	A-2	H28.12.7
大東分団	日野	令和5年	4,009	川越 800 さ 3831	A-2	R5.3.10 (貸付)
山田分団	日野	平成25年	4,009	川越 800 さ 1769	A-2	H25.12.9
名細分団	日野	平成26年	4,009	川越 800 さ 1947	A-2	H26.12.8
霞ヶ関分団	日野	令和 4年	4,009	川越 800 さ 3792	A-2	R4.12.15

(2)川島町消防団

令和7年4月1日現在

所属	車名	年式	総排気量 (cc)	自動車登録番号	ポンプの級別 (級)	購入年月日
団本部	三菱	平成21年	2,350	熊谷 800 す 2124	—	H21.1.29
第一分団	日野	平成22年	4,009	熊谷 800 す 2676	A-2	H22.1.26
第二分団	日野	令和 2年	4,009	熊谷 800 す 8375	A-2	R2.12.8
第三分団	日野	平成23年	4,009	熊谷 800 す 3189	A-2	H23.1.28
第四分団	三菱	平成20年	4,890	熊谷 800 す 1434	A-2	H20.1.31
第五分団	日野	平成21年	4,009	熊谷 800 す 2122	A-2	H21.1.30
第六分団	いすゞ	令和 6年	2,990	熊谷 800 セ 71	A-2	R6.3.23

※A-2 毎分2.0m³以上の放水ができるもの

※B-2 毎分1.0m³以上の放水ができるもの

川越市消防団専用無線設備の状況

令和7年4月1日現在

移動局	電波の種類	出力	通信方式
32	消防団波	デジタル移動局	単信方式
		・車両積載 5W	
	市町村波	・可搬型 5W	
		・団長・副団長携帯 2W	
		・分団長携帯 2W	

所属	呼出名称	備考
団本部	かわごえだんほんぶ 1	可搬型
	※ かわごえだんしき 1	車両積載
	かわごえだんせきさい 1	車両積載
	※ かわごえだん 201	団長携帯
	※ かわごえだん 202	副団長携帯
	※ かわごえだん 203	副団長携帯
	※ かわごえだん 204	副団長携帯
	※ かわごえだん 205	副団長携帯
第一分団	かわごえいちぶんだん 1	車両積載
	かわごえいちぶんだん 101	分団長携帯
第二分団	かわごえにぶんだん 1	車両積載
	かわごえにぶんだん 101	分団長携帯
第三分団	かわごえさんぶんだん 1	車両積載
	かわごえさんぶんだん 101	分団長携帯
芳野分団	よしのぶんだん 1	車両積載
	よしのぶんだん 101	分団長携帯
古谷分団	ふるやぶんだん 1	車両積載
	ふるやぶんだん 101	分団長携帯
南古谷分団	みなみふるやぶんだん 1	車両積載
	みなみふるやぶんだん 101	分団長携帯
高階分団	たかしなぶんだん 1	車両積載
	たかしなぶんだん 101	分団長携帯
福原分団	ふくはらぶんだん 1	車両積載
	ふくはらぶんだん 101	分団長携帯
大東分団	だいとうぶんだん 1	車両積載
	だいとうぶんだん 101	分団長携帯
山田分団	やまだぶんだん 1	車両積載
	やまだぶんだん 101	分団長携帯
名細分団	なぐわしぶんだん 1	車両積載
	なぐわしぶんだん 101	分団長携帯
霞ヶ関分団	かすみがせきぶんだん 1	車両積載
	かすみがせきぶんだん 101	分団長携帯

※市町村波 導入移動局

川島町消防団専用無線設備の状況

令和7年4月1日現在

移動局	電波の種類	出力	通信方式
18	消防団波 市町村波	デジタル移動局 ・車両積載 5W ・可搬型 5W ・団長・副団長携帯 2W ・分団長携帯 2W	単信方式

所属	呼出名称	備考
団本部	かわじまだんほんぶ 1	可搬型
	かわじまだんほんぶ 2	可搬型
	※ かわじまだんしれい 1	車両積載
	※ かわじまだん 201	団長携帯
	※ かわじまだん 202	副団長携帯
	※ かわじまだん 203	副団長携帯
第一分団	かわじまいちぶんだん 1	車両積載
	かわじまいちぶんだん 101	分団長携帯
第二分団	かわじまにぶんだん 1	車両積載
	かわじまにぶんだん 101	分団長携帯
第三分団	かわじまさんぶんだん 1	車両積載
	かわじまさんぶんだん 101	分団長携帯
第四分団	かわじまよんぶんだん 1	車両積載
	かわじまよんぶんだん 101	分団長携帯
第五分団	かわじまごぶんだん 1	車両積載
	かわじまごぶんだん 101	分団長携帯
第六分団	かわじまろくぶんだん 1	車両積載
	かわじまろくぶんだん 101	分団長携帯

※市町村波 導入移動局

そ の 他

自警消防隊の状況

川越市

令和7年4月1日現在

区域 隊数 等	第三		芳野		高階		大東		山田		合計
	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	
1	小ヶ谷	15	北田島	18	藤間		池辺	16	上寺山	4	
2	今成	20	鴨田	31	新河岸	6			寺山	17	
3			石田本郷	17					福田	17	
4			菅間中下	20					北山田		
5			菅間上	13					南山田	15	
6			鹿飼	15					府川	4	
7											
8											
9											
10											
隊数	2		6		2		1		6		17
人員計	35		114		6		16		57		228

消 防 年 報

令和 7 年 6 月刊行

発行 川越地区消防局 総務課

〒350-0823 埼玉県川越市神明町48番地4

電 話 (049) 222-0741

F A X (049) 226-7291

